

学校選択制の現状に関する調査・分析結果について（住吉区）

1 目的

本市では、大阪の教育力の向上、充実を図り、教育の振興を推進し、子どもたちの最善の利益を図るため、子どもや保護者の意向に答えていく必要があるとの観点から、平成24年度に学校選択制の制度化を行いました。

地域の実情に即した制度とするため、具体的な制度の方針案を区ごとに策定し、平成26年度入学者から小学校6区、中学校12区で開始。その後、順次、実施してきており、平成31年度入学者からは、小学校・中学校ともすべての区で実施しています（生野区の一部を除く）。学校選択制を利用して通学区域外の学校に就学した児童生徒の割合についても、年々増加している状況となっており、制度として定着してきていますが、制度の導入から年数が経過していることから、検証を行う必要があります。

平成26年度の制度導入時に小学校で学校選択制を利用した児童・保護者が、令和2年度に初めて中学校入学時に学校選択制を利用することとなることから、このタイミングを捉え、導入時の「熟議」や「就学制度の改善」において期待されていたメリットや懸念されていた課題について、今後の各区及び市全体において必要な改善を行うための材料の一つとして役立てるために、調査・分析を行いました。

2 調査・分析の視点

調査・分析にあたっては、学校選択制導入時の「熟議」や「就学制度の改善について」で期待されたメリットや懸念された課題をふまえ、今後の大阪市の学校選択制を考える上で考慮すべき項目として、次の項目を全区共通の調査・分析の視点として設定しました。

- 【視点①】学校選択制の満足度はどうか。
- 【視点②】子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができているか。
- 【視点③】子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったか。
- 【視点④】特色ある学校づくりが進んだか。
- 【視点⑤】開かれた学校づくりが進んだか。
- 【視点⑥】児童生徒の通学の安全に課題が生じていないか。
- 【視点⑦】学校と地域、保護者の連携に課題が生じていないか。
- 【視点⑧】区や学校が提供する情報ではなく、風評等による学校の選択がなされていないか。
- 【視点⑨】学校選択制による児童生徒数の増減で、教育的課題が生じていないか。

3 調査・分析データ

大阪市では、平成26年度の制度導入より毎年保護者アンケートを実施し、保護者の学校選択理由などを経年的に把握しているところです。

今回の調査・分析を行うにあたり、9項目の「調査・分析の視点」を設定し、各項目の分析に必要な質問を従来の保護者アンケートに追加するとともに、新たに地域団体関係者を対象とするアンケート調査、小中学校を対象とする学校選択制の状況調査を行いました。また、制度導入時からの、学校選択の状況や希望調査票の提出状況についてもとりまとめ、分析に活用しています。

【アンケート調査】

保護者アンケート＝令和2年度に区内の市立小・中学校に入学した児童生徒の保護者全員を対象に実施

※学校選択制導入時（平成26年度）～昨年度（令和元年度）に入学した児童生徒の保護者全員に実施したアンケート調査結果も使用。

地域団体関係者アンケート＝小・中学校区内の地域団体役員等を対象に実施。

【学校状況調査】

区内の全市立小学校・中学校を対象に実施

【運用状況データの活用】

学校選択制によって通学区域外の学校に就学した者の割合、希望調査票の提出状況など。

4 アンケート調査等の実施時期・回収方法など

【保護者アンケート】

令和2年6月下旬に各区役所から学校を通じてアンケートを保護者に配付。

回収は区役所あて7月17日までに返信用封筒で送付。アンケートは無記名。

【地域団体関係者アンケート】

令和2年度に、地域団体の役員等に配付し、回収。

【学校状況調査】

令和2年度に、1つの学校あたり1枚の調査用紙を配付し、回収。

5 アンケート回収状況

(保護者アンケート)

	配布数	回収数	回収率
小学校	1,126	625	55.5%
中学校	1,063	487	45.8%

(地域団体関係者アンケート)

	配布数	回収数	回収率
地域団体役員等	22	16	72.7%

(学校状況調査)

	配布数	回収数	回収率
小学校	14	14	100.0%
中学校	8	8	100.0%

6 調査・分析結果

3ページ～35ページのとおり

※本報告書の構成について

本報告書では、「調査・分析の視点」の各項目にそって、アンケート結果および学校状況調査、運用状況データの調査・分析結果をとりまとめています。アンケート結果にかかる報告書への掲載データは、一部抜粋して示しております。

割合については、回答のあった数値のみで算出しています。また、小数点第2位を四捨五入しているため、各区分の割合の合計が100%にならない場合があります。

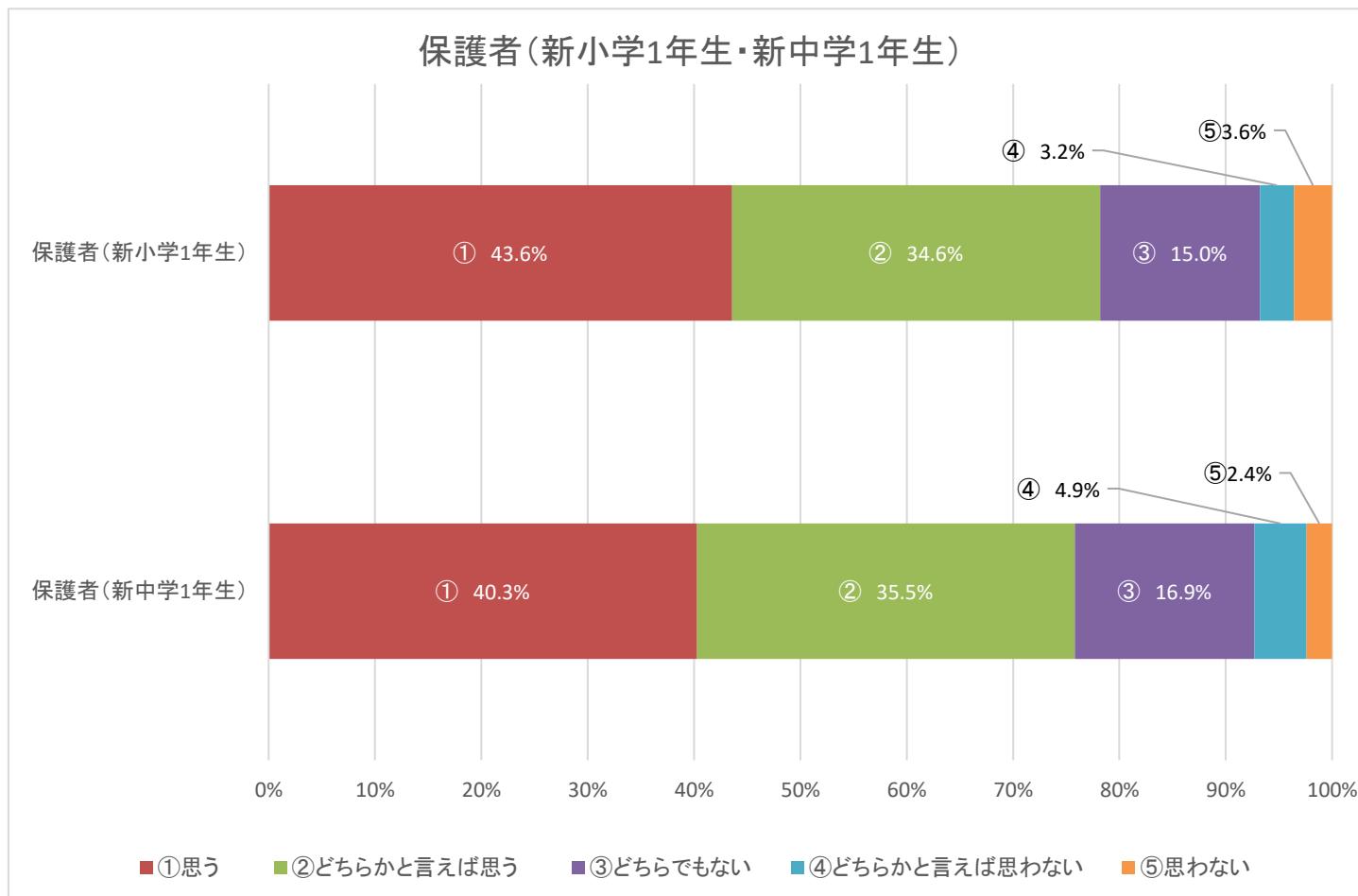
調査・分析内容

【視点①】 学校選択制の満足度はどうか。

①学校選択制は、大阪市の子どもや保護者、大阪市の学校教育にとって良い制度だと思いますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問20、保護者アンケート(新中学1年生):問27】<1つだけ回答>

ア)全体



(分析)

保護者(新小学1年生)の78.2%、保護者(新中学1年生)の75.8%が、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて良い制度であると回答している。一方、保護者(新小学1年生)の6.8%、保護者(新中学校1年生)の7.3%が、「思わない」「どちらかと言えば思わない」を合わせて良い制度と思わないと回答している。

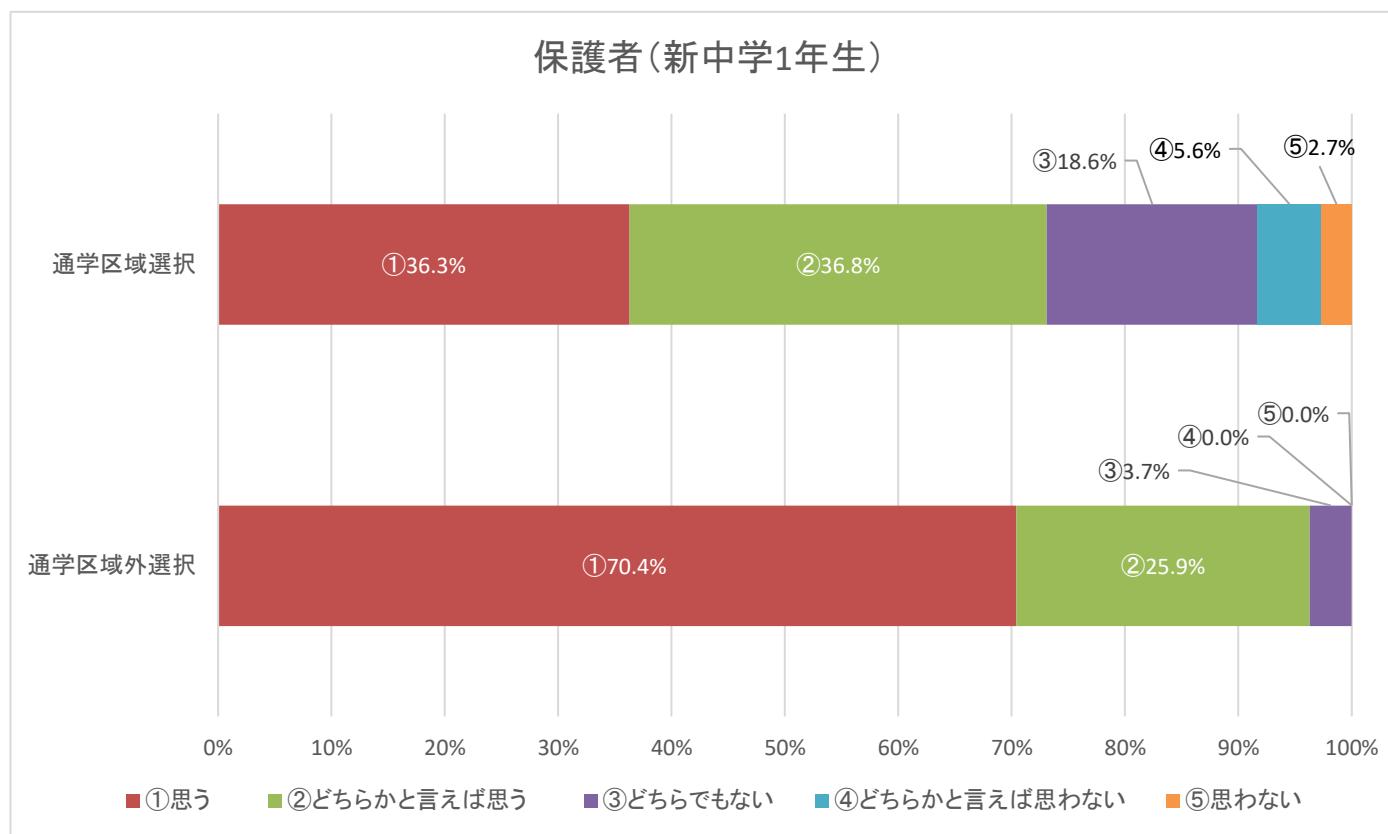
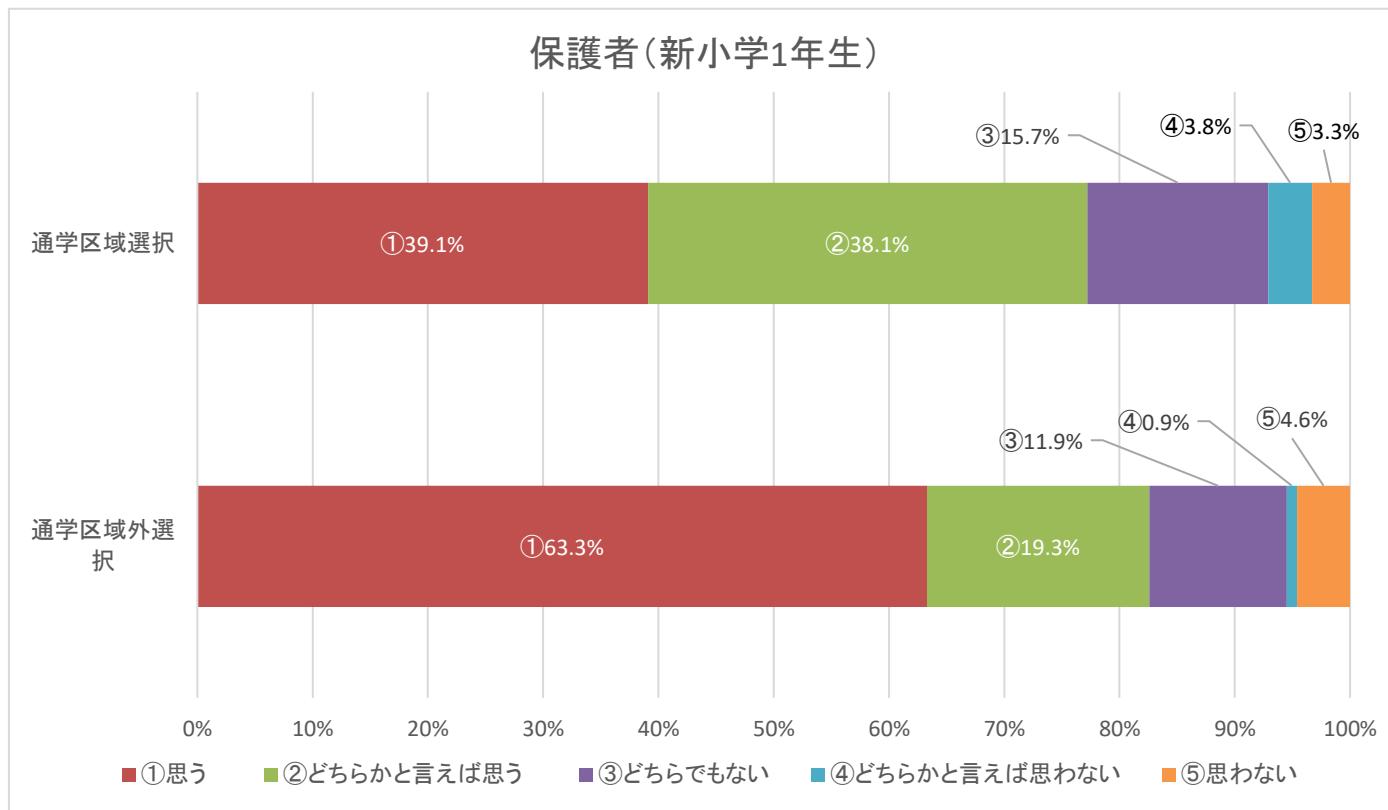
【理由】

- 「思う」「どちらかと言えば思う」保護者(新小学校1年生)
 - ・教育方針や校風など子どもに合った学校を選べるから。(96件)
 - ・自宅から近くて安全な学校を選べるから。(47件)
 - ・選択肢があるのはいいことだから。(39件)
 - ・学校について調べる機会ができ、教育への関心が高まるから。(29件)
 - ・引越さなくても行きたい学校に行けるから。(18件)
 - ・学校に特色や活気が出るから。(16件)
 - ・幼稚園や保育所からの友達と一緒に学校へ行けるから。(15件)
- 「思わない」「どちらかと言えば思わない」保護者(新小学校1年生)
 - ・うわさなどで児童数が増減するから。(10件)
 - ・メリットを感じないから。(9件)
 - ・行きたい学校に必ず行けるとは限らないから。(9件)
 - ・選べることで逆に悩むから。(5件)
 - ・与えられた環境を受け入れることは社会に出て大切だから。(1件)

- 「思う」「どちらかと言えば思う」保護者（新中学校1年生）
- 教育方針や校風、やりたい部活など子どもに合った学校を選べるから。（60件）
 - 選択肢があるのはいいことだから。（38件）
 - 学校について調べる機会ができ、教育への関心が高まるたから。（18件）
 - 自宅から近くて安全な学校を選べるから。（17件）
 - いじめなど小学校の時の環境を変えられるから。（14件）
 - 学校に特色や活気が出るから。（8件）
 - 引越さなくても行きたい学校に行けるから。（4件）

- 「思わない」「どちらかと言えば思わない」保護者（新中学校1年生）
- 学校によって生徒数の偏りや学力差が出るから。（6件）
 - 選択する必要性が分からないから。（2件）
 - 選べることで逆に悩むから。（2件）
 - 地域とのつながりが減るから。（1件）

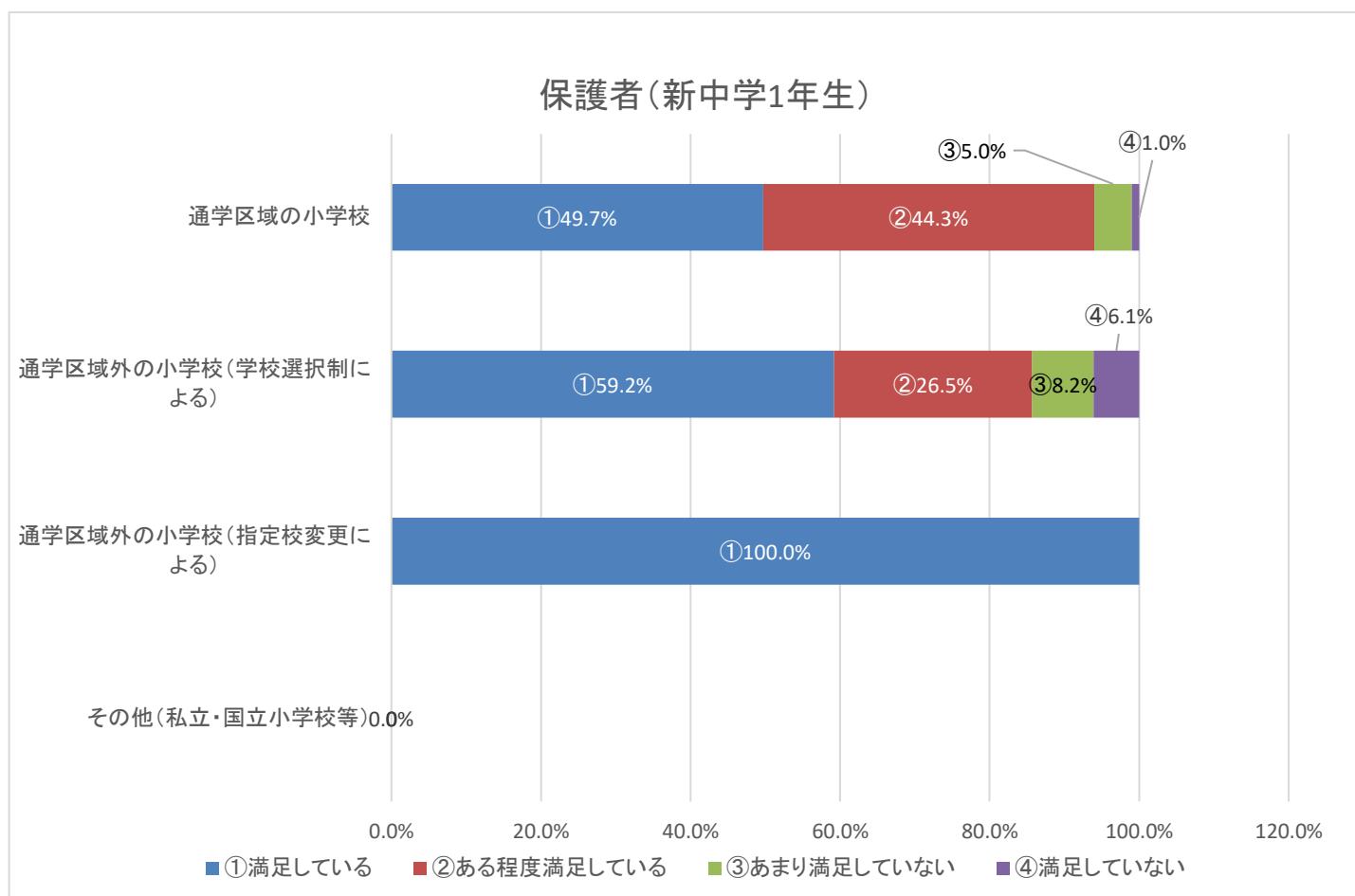
イ) 通学区域・通学区域外別



(分析)
 通学区域の学校を選択した保護者では、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、小学校で77.2%、中学校で73.1%が、良い制度であると回答している。
 通学区域外の学校を選択した保護者では、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、小学校で82.6%、中学校で96.3%が、良い制度であると回答しており、どちらも通学区域の学校を選択した保護者を上回っている。

②あなたのお子さんが卒業した小学校について満足していますか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問19]<1つだけ回答>



【理由】

○「満足している」「ある程度満足している」保護者(新中学1年生)

- ・先生が親切、丁寧、熱心だったから。(121件)
- ・子どもが楽しそうに喜んで通っていたから。(56件)
- ・友達がたくさんできたから。(8件)
- ・家から近くて安全だったから。(5件)
- ・学校の設備が整っていたから。(3件)

○「満足していない」「あまり満足していない」保護者(新中学1年生)

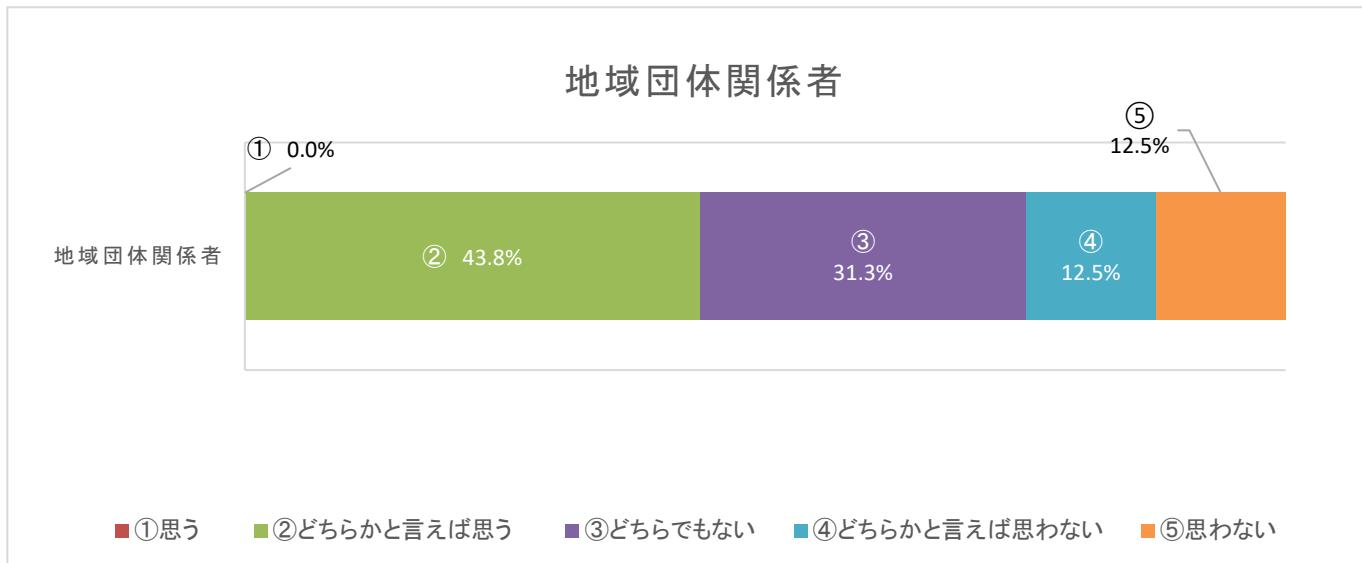
- ・学校の指導方法に不満があったから。(18件)
- ・子どもの問題行動が目立っていたから。(5件)
- ・全体の学力が低かったから。(5件)
- ・いじめがあったから。(2件)
- ・校則に不満があったから。(1件)

(分析)

通学区域の小学校に就学した児童の保護者の94.0%、通学区域外の小学校(学校選択制)に就学した児童の保護者の85.7%、通学区域外の小学校(指定校変更)に就学した児童の保護者の100%が、「満足している」「ある程度満足している」を合わせて満足していると回答している。

③学校選択制は、大阪市の子どもや保護者、大阪市の学校教育にとって良い制度だと思いますか。

【地域団体関係者アンケート:問6】<1つだけ回答>



【視点①総括】

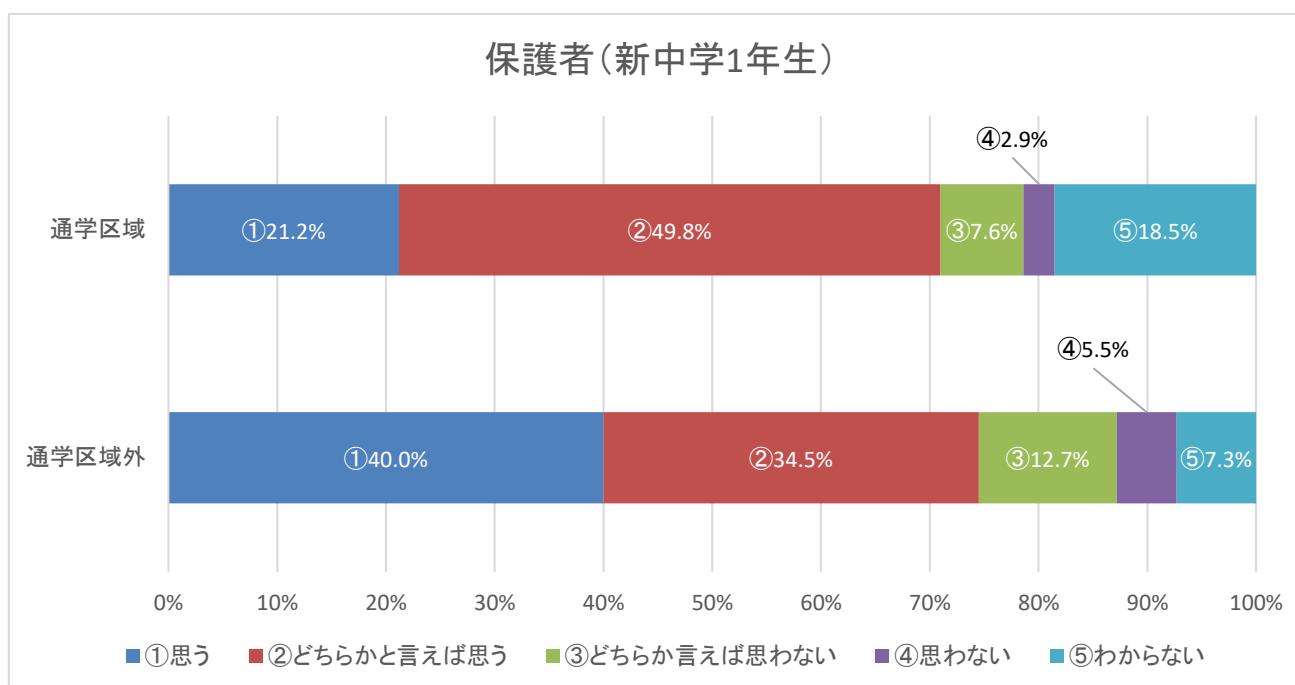
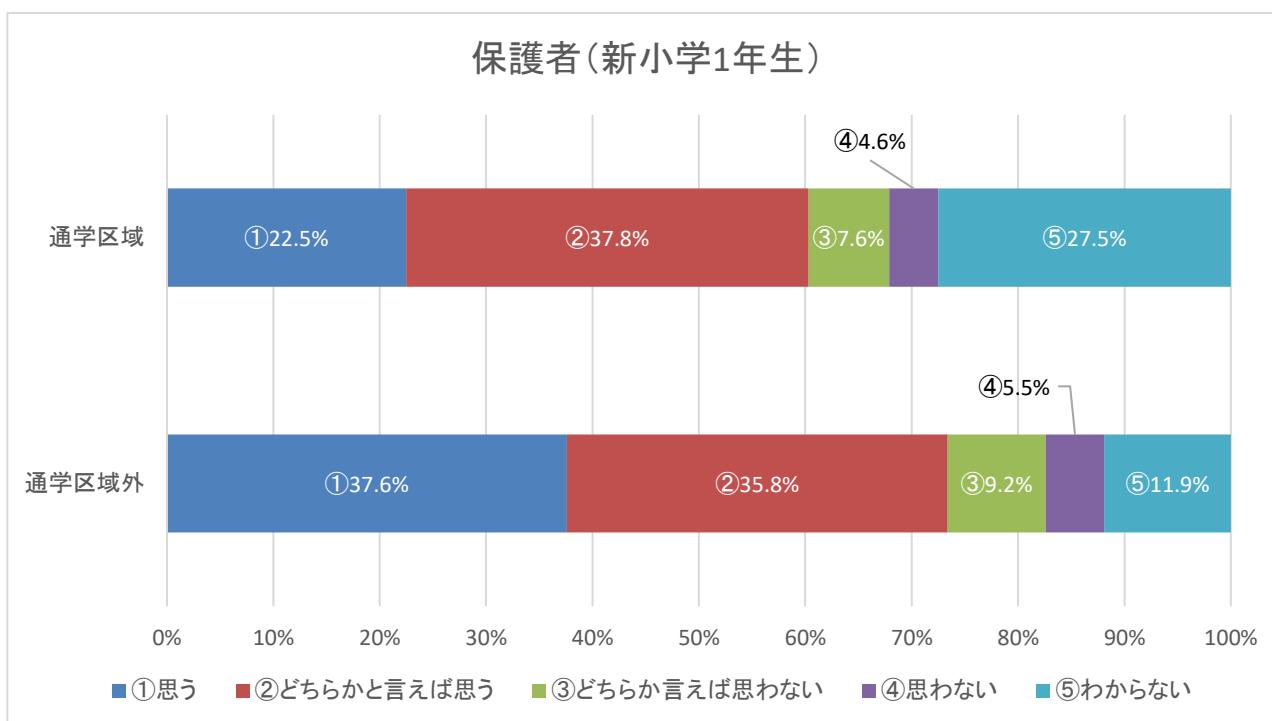
本区の学校選択制については、小学校で通学区域の学校を選択した保護者の約77%、通学区域外の学校を選択した保護者の約83%、中学校で通学区域の学校を選択した保護者の約73%、通学区域外の学校を選択した保護者の96%以上が、良い制度であると回答しており、「校風や教育方針など子どもに合った学校が選べる」「選択肢があるのはいいこと」「自宅から近くて安全な学校を選べる」などの声が多かった。

また、通学区域の学校を選択した保護者の94%、通学区域外の学校を選択した保護者の85%以上が子どもが卒業した小学校に満足しており、地域団体関係者においても、約44%から良い制度であるという評価を得ている。

【視点②】子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができるか。

①学校選択制によって、子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問18、保護者アンケート(新中学1年生):問22】<1つだけ回答>



(分析)

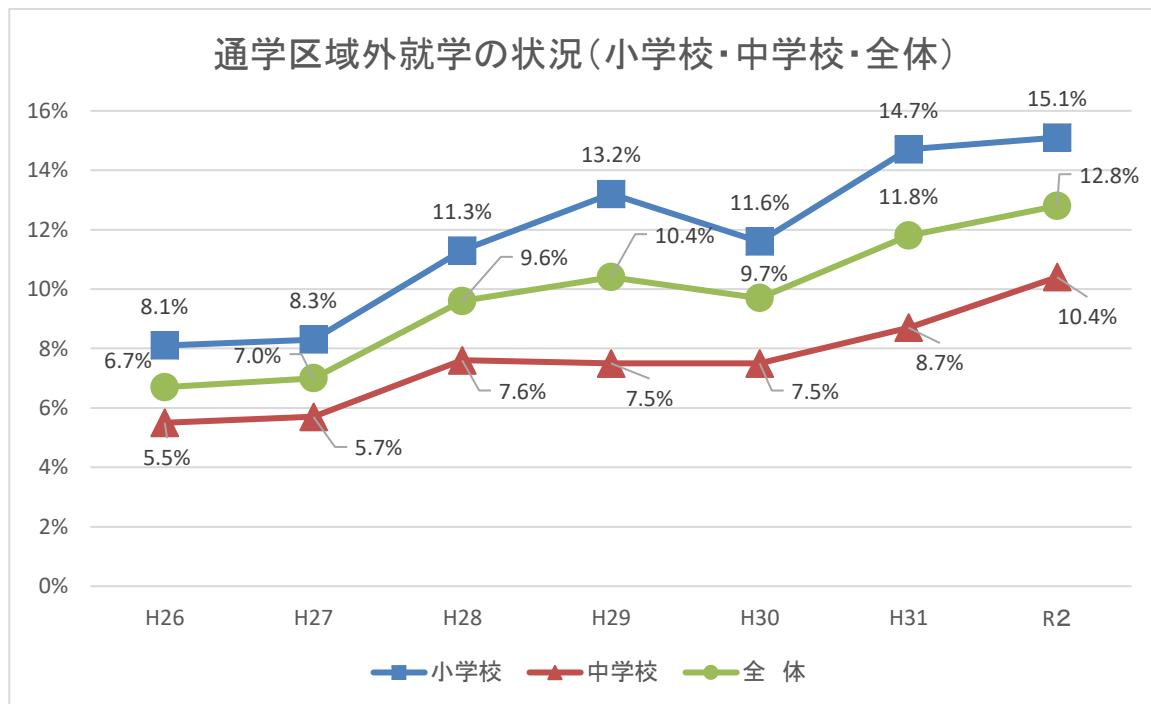
通学区域の学校を選択した保護者では、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、小学校で60.3%、中学校で71.0%が、子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができていると回答している。

通学区域外の学校を選択した保護者では、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、小学校で73.4%、中学校で74.5%が、子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができていると回答しており、どちらも通学区域の学校を選択した保護者を上回っている。

②学校選択制による通学区域外の学校への就学の状況

【運用状況データの活用】

大阪市立の小学校・中学校に入学した者のうち、学校選択制で通学区域外の学校に入学した者の割合。



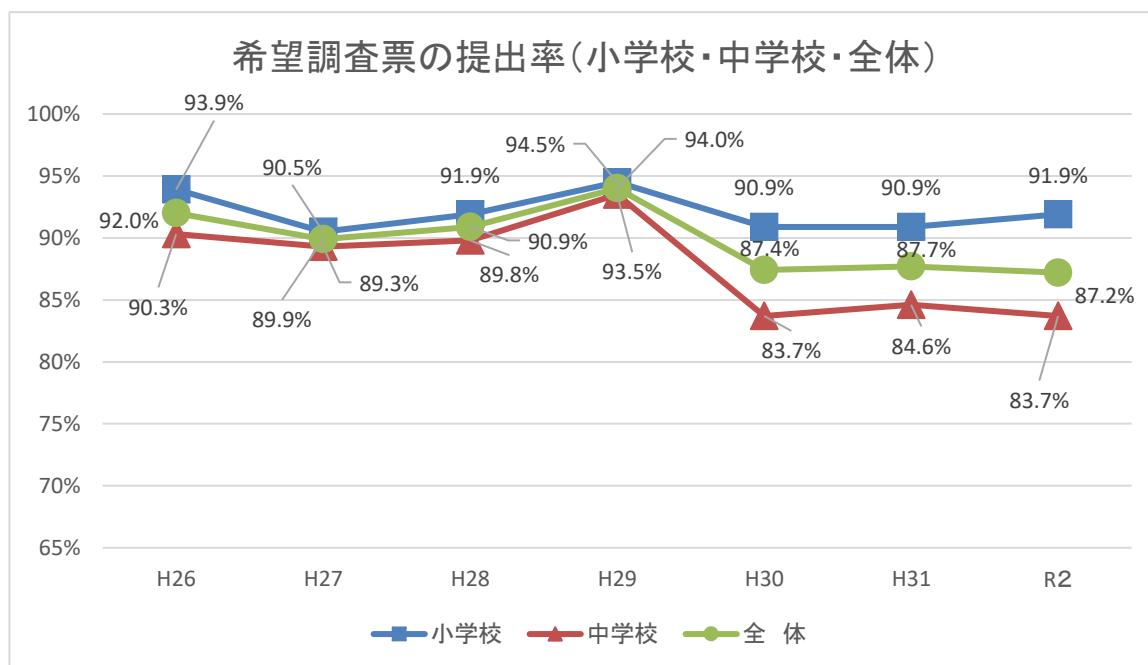
(分析)

平成26年度の制度導入時に、通学区域外の学校を選択した保護者の割合は、小学校で8.1%、中学校で5.5%だったが、小学校、中学校とも毎年少しずつ増加傾向が見られ、令和2年度には、小学校で15.1%、中学校で10.4%となっている。

③希望調査票の提出率

【運用状況データの活用】

大阪市立の小学校・中学校に入学した者のうち、学校選択制の希望調査票を提出した者の割合。



(分析)

平成26年度の制度導入時より、希望調査票の提出率は、小学校で毎年90%以上、中学校も平成29年度までは、90%前後となっているが、中学校で平成30年度以降やや下がっている。

【視点②総括】

小学校で通学区域の学校を選択した保護者の約60%、通学区域外の学校を選択した保護者の約73%、中学校で通学区域の学校を選択した保護者の約70%、通学区域外の学校を選択した保護者の約75%の方が、子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができていると回答しており、小中とも通学区域外の学校を選択した保護者の割合がやや上回っている。

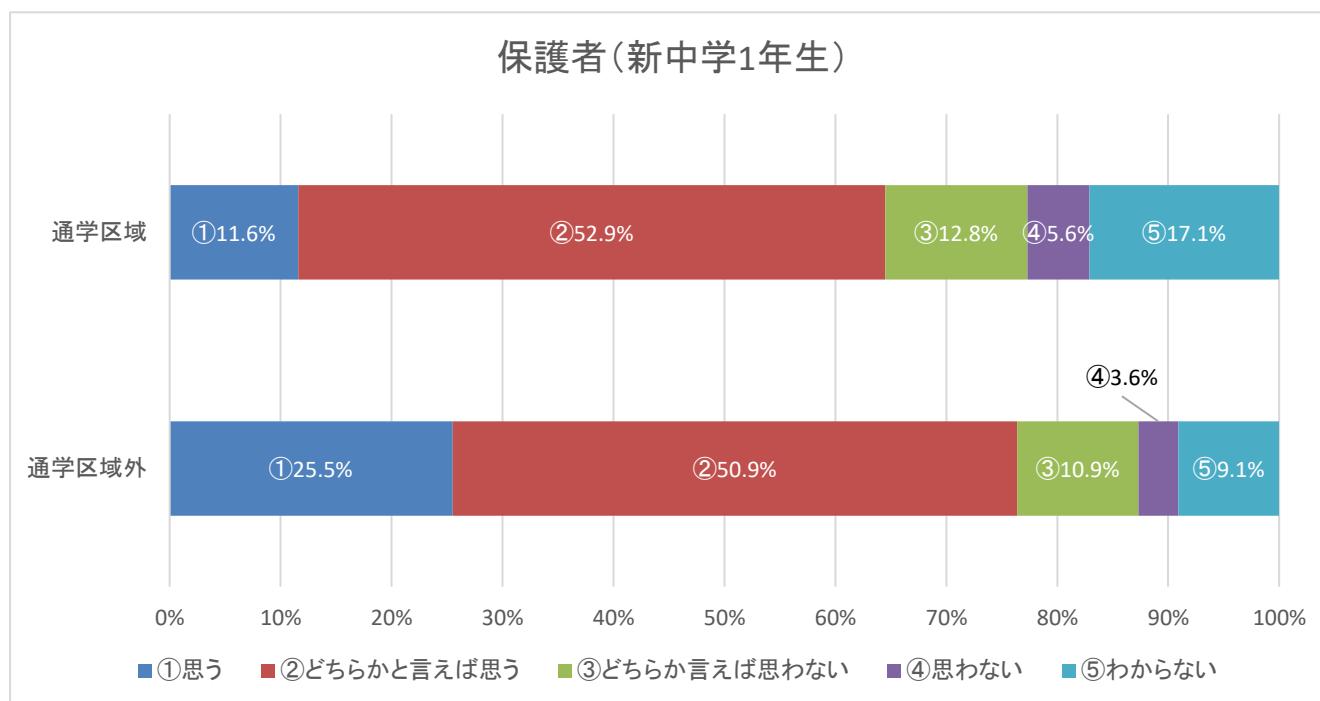
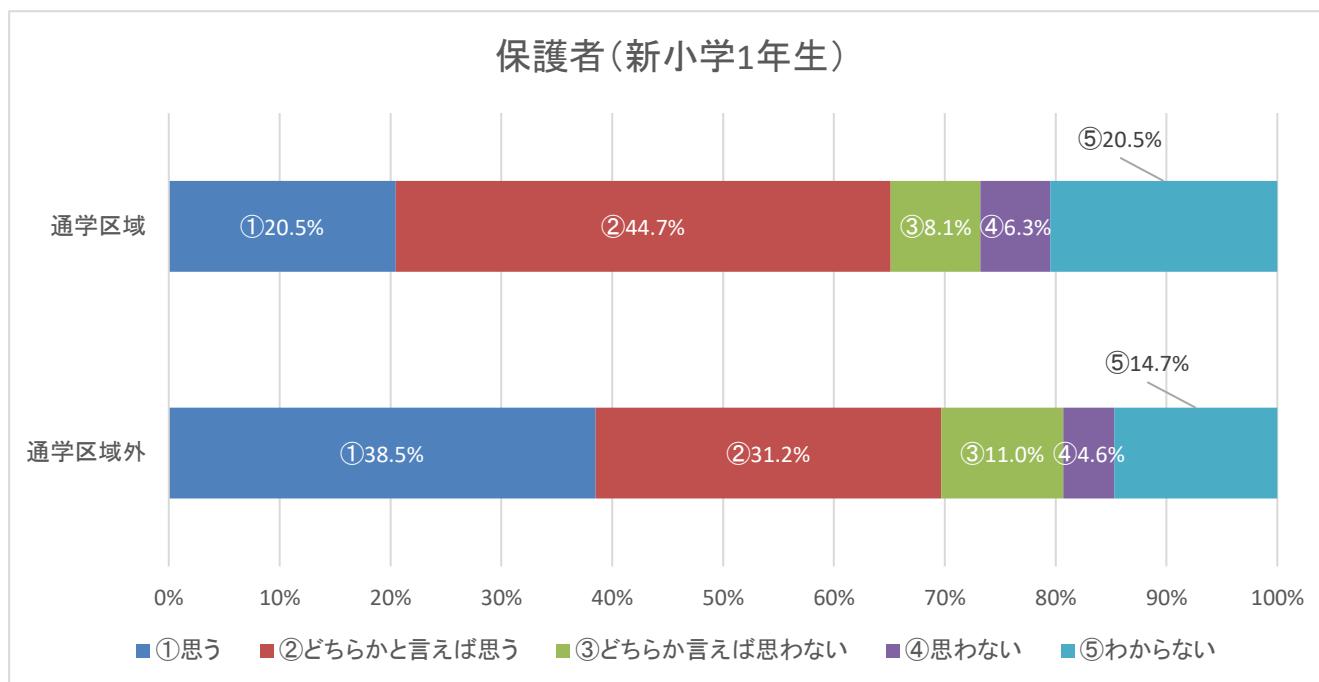
平成26年度の制度導入時、通学区域外の学校を選択した保護者の割合は、小学校で8.1%、中学校で5.5%だったが、令和2年度には、小学校で15.1%、中学校で10.4%と、毎年少しずつ増加傾向が見られる。

希望調査票の提出率は、制度導入時より、小学校で90%以上、中学校で平成30年度以降やや下がっている。

【視点③】子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったか。

①学校選択制によって、子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと思いますか。

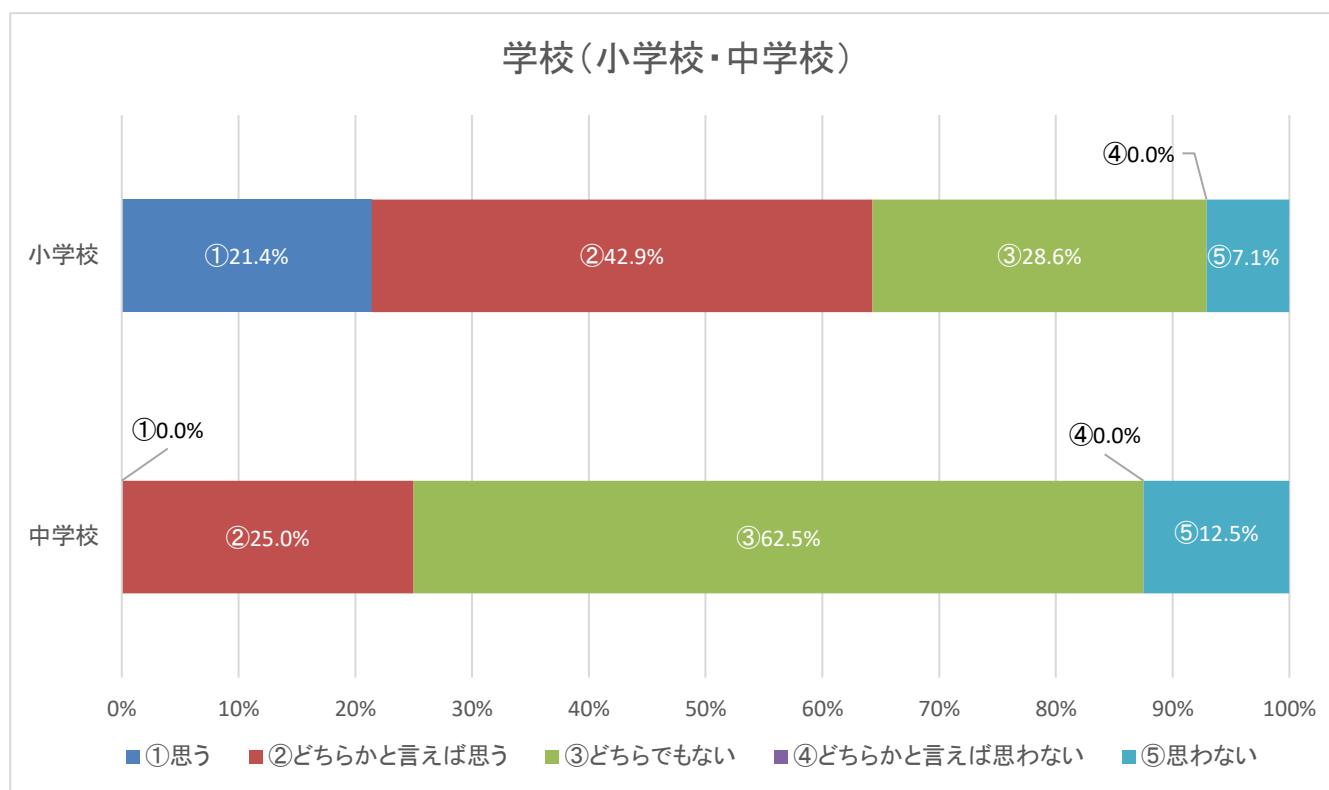
【保護者アンケート(新小学1年生):問19、保護者アンケート(新中学1年生):問23】<1つだけ回答>



(分析)
 通学区域の学校を選択した保護者では、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、小学校で65.2%、中学校で64.5%が、学校選択制によって、子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと回答している。
 通学区域外の学校を選択した保護者では、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、小学校で69.7%、中学校で76.4%が、学校選択制によって、子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと回答しており、どちらも通学区域の学校を選択した保護者を上回っている。

②学校選択制によって、あなたの学校において子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと思いますか。

【学校状況調査:問1】<1つだけ回答>



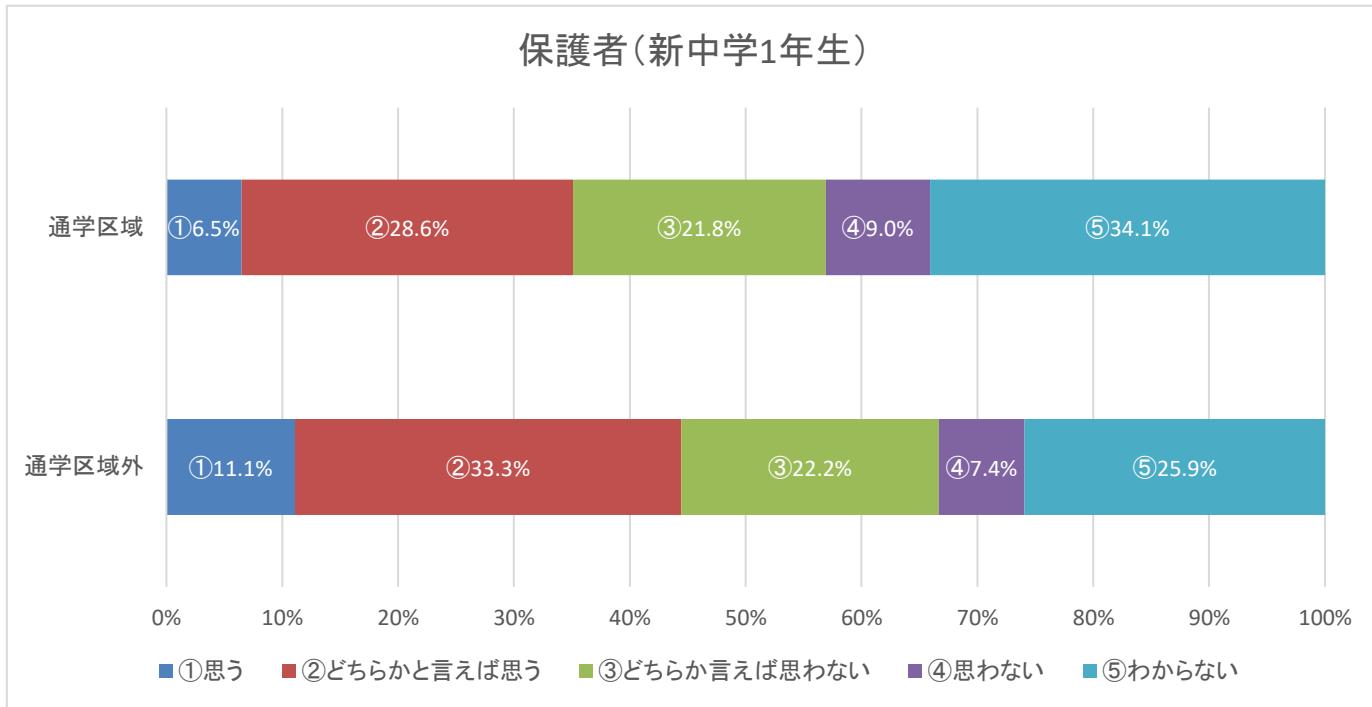
(分析)
 「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、小学校で64.3%、中学校で25.0%が、学校選択制によって、自分の学校において子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと回答している。
 「どちらでもない」という回答は、小学校で28.6%、中学校で62.5%、「思わない」という回答は、小学校で7.1%、中学校で12.5%だった。

【視点③総括】
 小学校で通学区域の学校を選択した保護者の約65%、通学区域外の学校を選択した保護者の約70%、中学校で通学区域の学校を選択した保護者の約65%、通学区域外の学校を選択した保護者の約77%が、学校選択制によって、子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと回答している。
 小学校では約65%が学校選択制によって、自分の学校において子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと回答しているが、中学校では約63%が「どちらでもない」と回答しており、「どちらかと言えば思う」の25%を上回っている。

【視点④】 特色ある学校づくりが進んだか。

①学校選択制によって、特色ある学校づくりが進んだと思いますか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問24】<1つだけ回答>



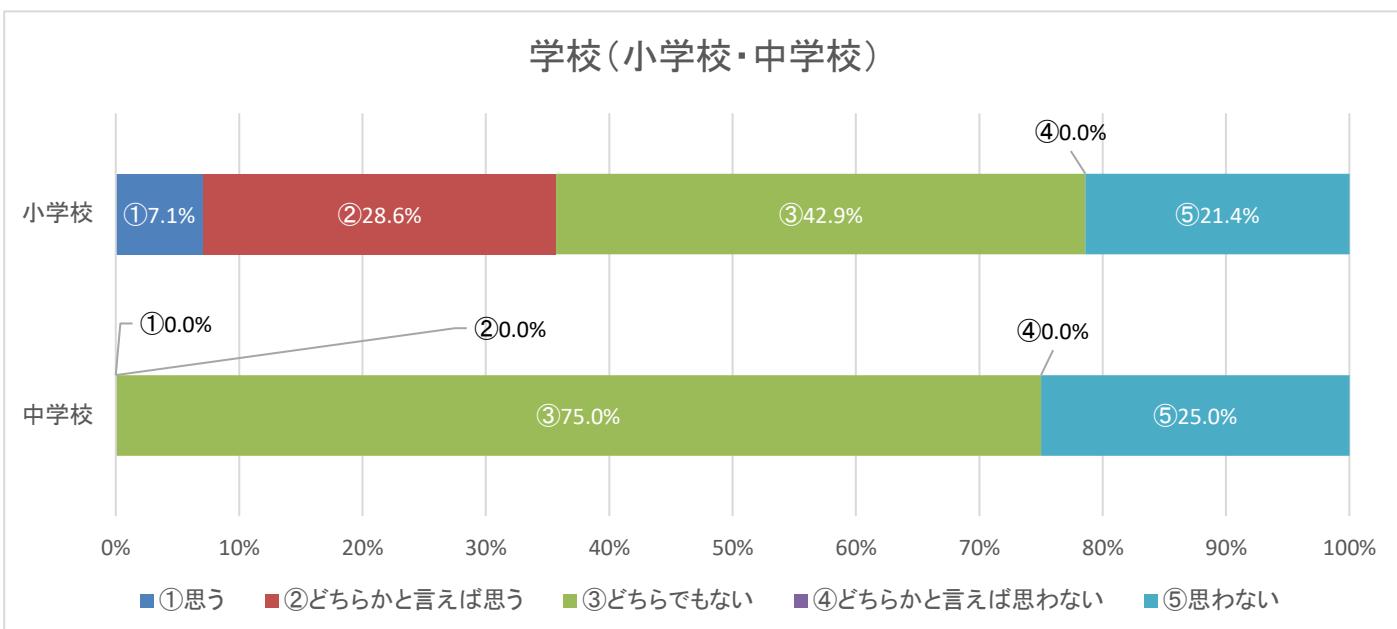
(分析)

通学区域の学校を選択した保護者では、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、35.1%、通学区域外の学校を選択した保護者では、44.4%が、学校選択制によって、特色ある学校づくりが進んだと回答しているが、通学区域の学校を選択した保護者の30.8%が「思わない」「どちらかと言えば思わない」、通学区域外の学校を選択した保護者の29.6%が「思わない」「どちらかと言えば思わない」と回答している。

また、通学区域の学校を選択した保護者の34.1%、通学区域外の学校を選択した保護者の25.9%は「わからない」と回答している。

②学校選択制によって、あなたの学校における特色ある学校づくりが進んだと思いますか。

【学校状況調査:問3】<1つだけ回答>



(分析)

「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、小学校では35.7%が、学校選択制によって、自分の学校における特色ある学校づくりが進んだと回答しているが、「どちらでもない」という回答は、小学校で42.9%、中学校で75.0%となっている。また、小学校の21.4%、中学校の25.0%が「思わない」と回答している。

【視点④総括】

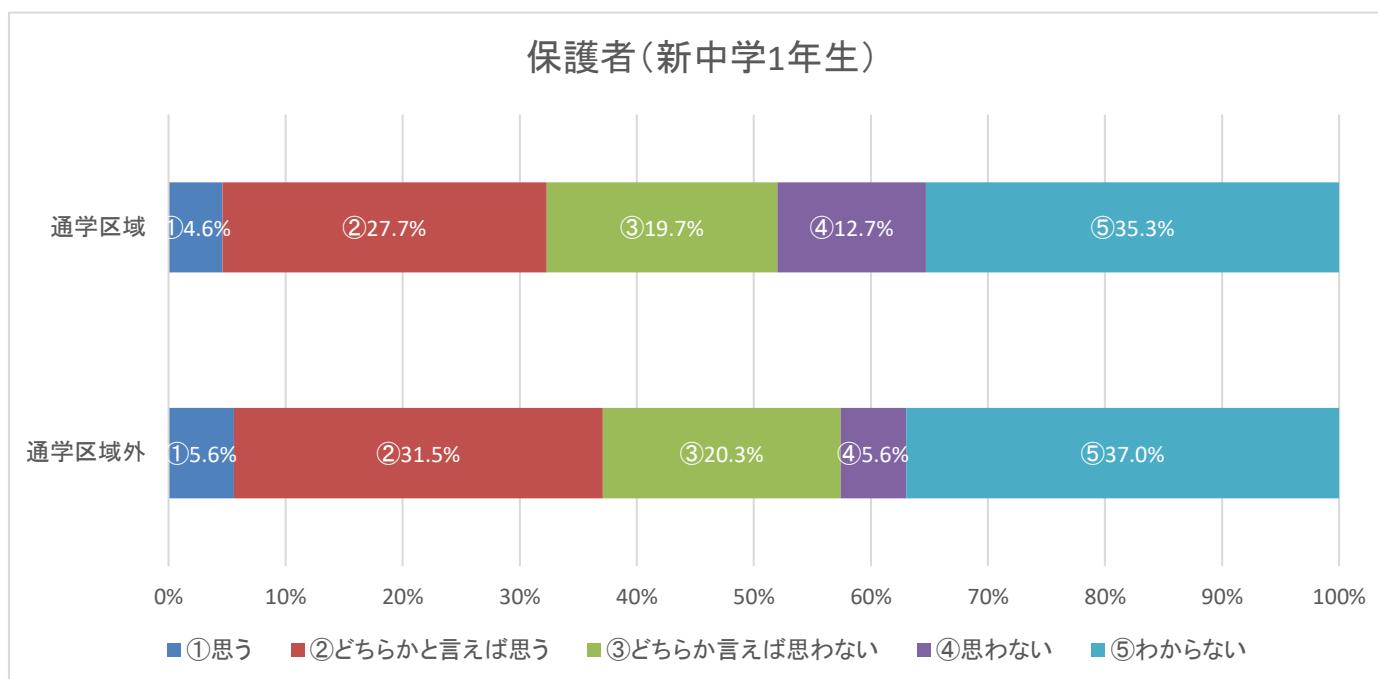
通学区域の学校を選択した保護者の約35%、通学区域外の学校を選択した保護者の約44%が、学校選択制によって、特色ある学校づくりが進んだと回答しているが、通学区域の学校を選択した保護者、通学区域外の学校を選択した保護者とも約30%が「思わない」「どちらかと言えば思わない」と回答している。また、通学区域の学校を選択した保護者の約34%、通学区域外の学校を選択した保護者の約26%は「わからない」と回答している。

小学校では、約36%が、学校選択制により、自分の学校における特色ある学校づくりが進んだと回答しているが、中学校では0%である。また、「どちらでもない」という回答が、小学校で約43%、中学校で75%となっている。

【視点⑤】開かれた学校づくりが進んだか。

①学校選択制によって、学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み(授業参観、学校公開など)が充実してきたと思いますか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問25]<1つだけ回答>



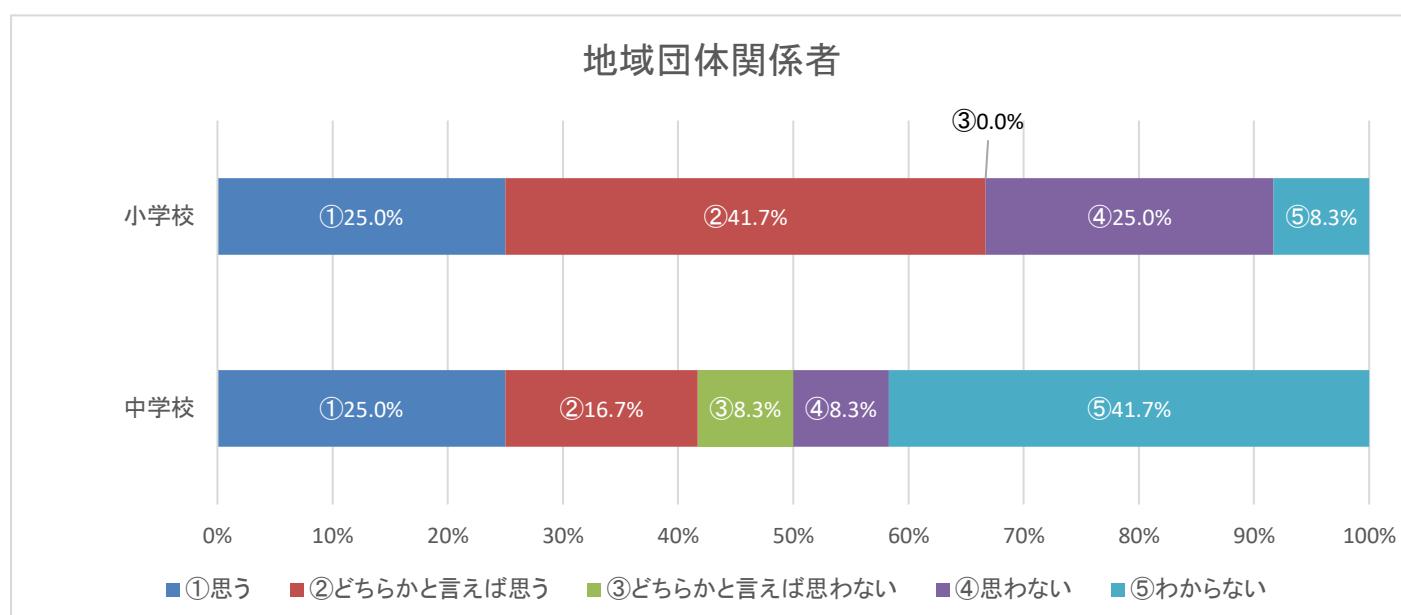
(分析)

通学区域の学校を選択した保護者では、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて32.3%、通学区域外の学校を選択した保護者では37.1%が、学校選択制によって、学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組みが充実してきたと回答している。

「思わない」「どちらかと言えば思わない」という回答は、通学区域の学校を選択した保護者で32.4%、通学区域外の学校を選択した保護者で25.9%となっている。また、「わからない」という回答は、通学区域の学校を選択した保護者で35.3%、通学区域外の学校を選択した保護者で37.0%となっている。

②学校選択制によって、あなたの地域の学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み(授業参観、学校公開等)が充実してきたと思いますか。

【地域団体関係者:問1]<1つだけ回答>



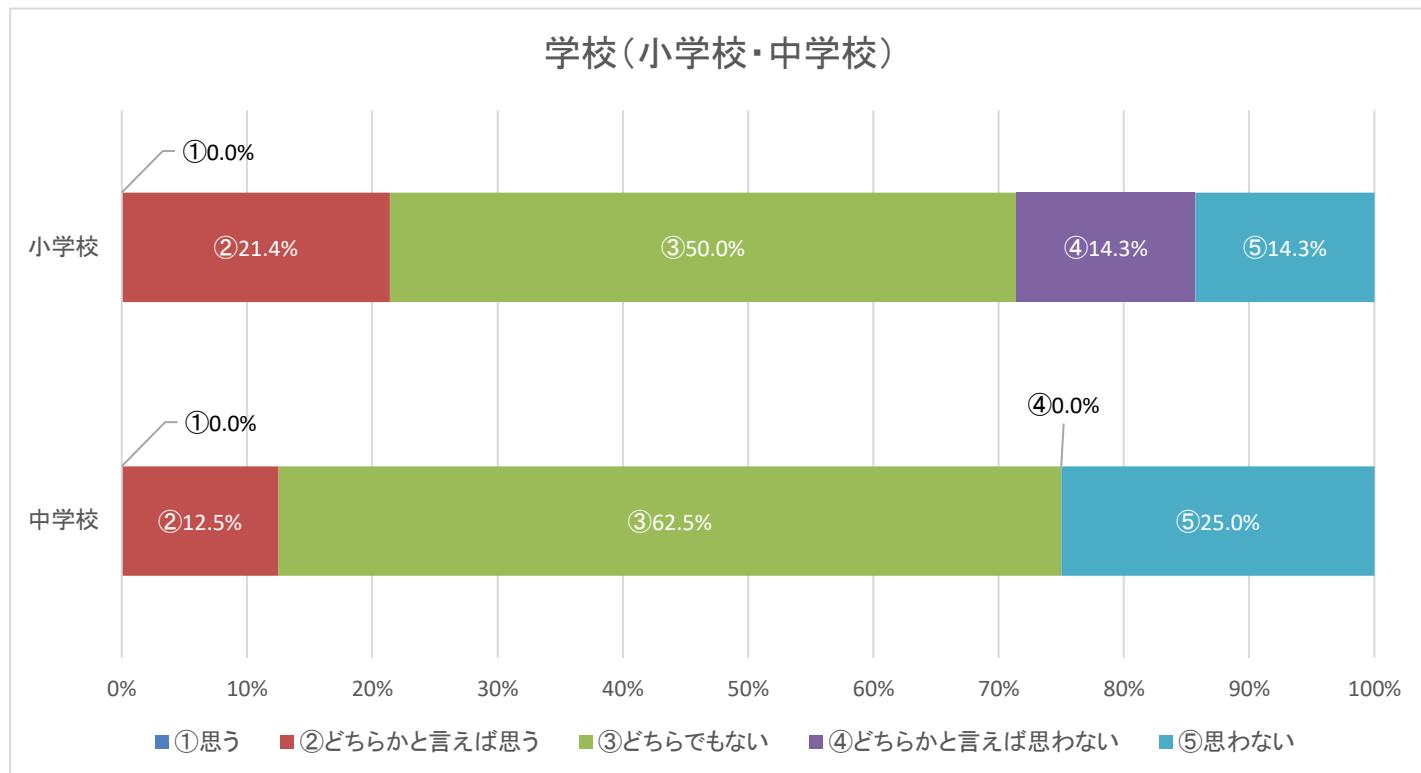
(分析)

「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、小学校の地域団体関係者の66.7%、中学校の地域団体関係者の41.7%が、学校選択制によって、自分の地域の学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組みが充実したと回答している。

「思わない」「どちらかと言えば思わない」という回答は、小学校の地域団体関係者で25.0%、中学校の地域団体関係者で16.6%、「わからない」という回答は、小学校の地域団体関係者で8.3%、中学校の地域団体関係者で41.7%であった。

③学校選択制によって、あなたの学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み(授業参観、学校公開等)が充実してきたと思いますか。

【学校状況調査:問5】<1つだけ回答>



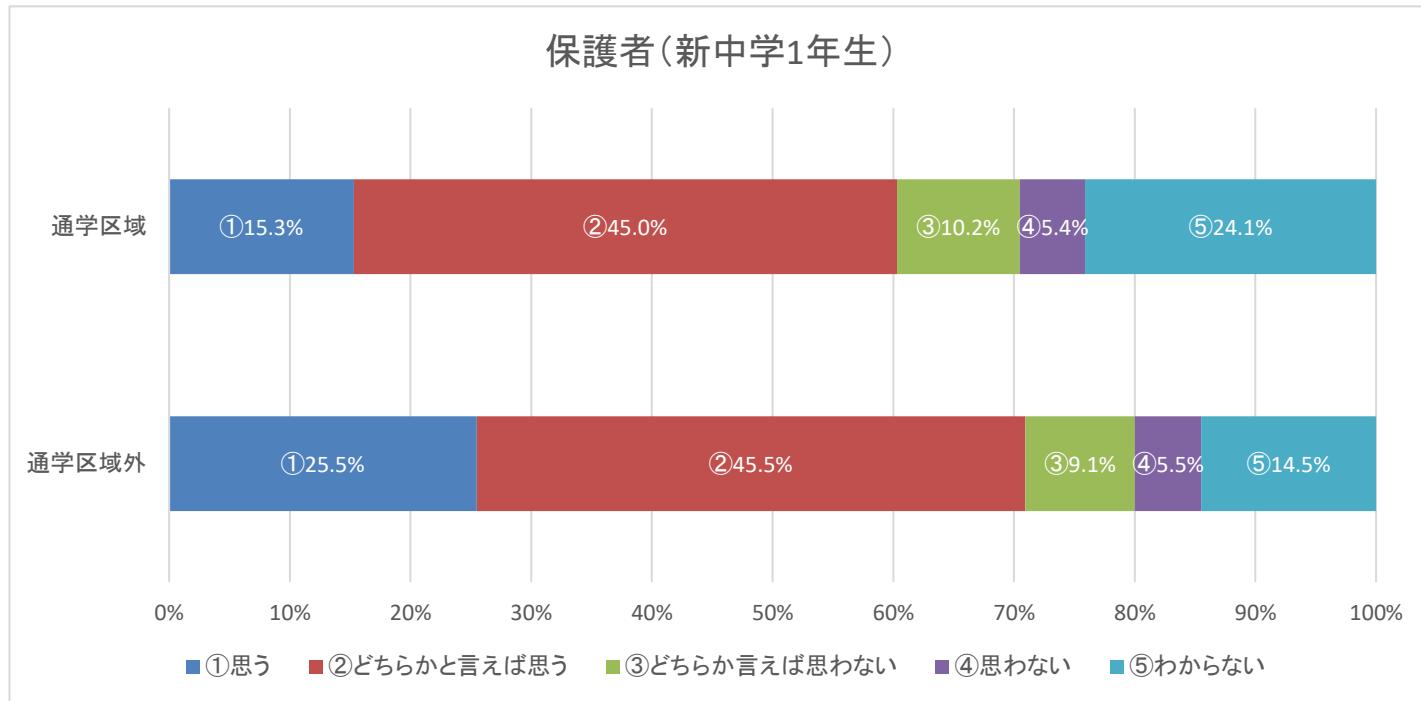
(分析)

小学校の21.4%、中学校の12.5%が、学校選択制によって、自分の学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組みが充実してきたことについて「どちらかと言えば思う」と回答しているが、小学校の50.0%、中学校の62.5%は「どちらでもない」と回答している。

また、小学校の28.6%、中学校の25.0%が「思わない」「どちらかと言えば思わない」と回答している。

④学校選択制によって、学校における情報発信(学校だより、ホームページの更新など)が充実してきたと思いますか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問26】<1つだけ回答>



(分析)

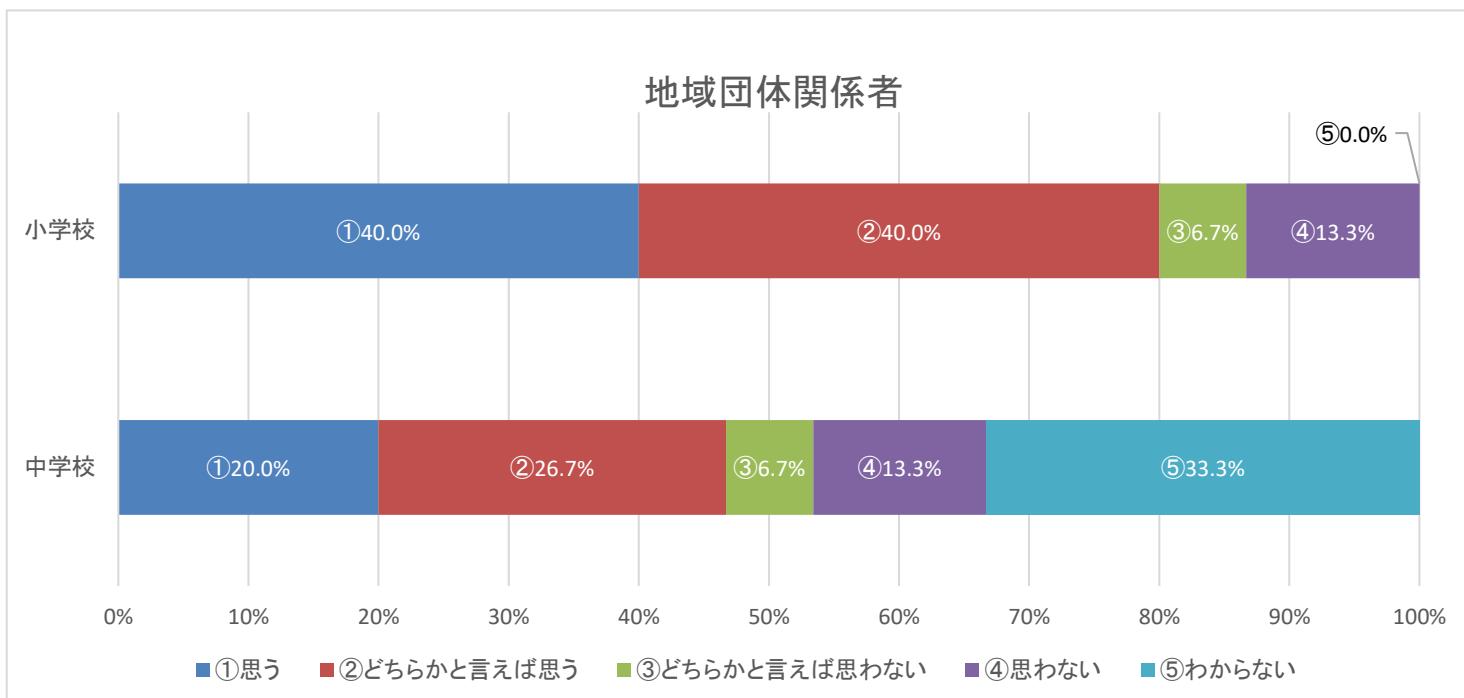
通学区域の学校を選択した保護者では、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、60.3%が、学校選択制によって、学校における情報発信が充実してきたと回答している。

通学区域外の学校を選択した保護者では、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、71.0%が、学校選択制によって、学校における情報発信が充実してきたと回答しており、通学区域の学校を選択した保護者を上回っている。

「思わない」「どちらかと言えば思わない」という回答は、通学区域の学校を選択した保護者の15.6%、通学区域外の学校を選択した保護者の14.6%、「わからない」という回答は、通学区域の学校を選択した保護者の24.1%、通学区域外の学校を選択した保護者の14.5%だった。

⑤学校選択制によって、あなたの地域の学校における情報発信(学校だより、ホームページの更新など)が充実してきたと思いますか。

【地域団体関係者:問2】<1つだけ回答>



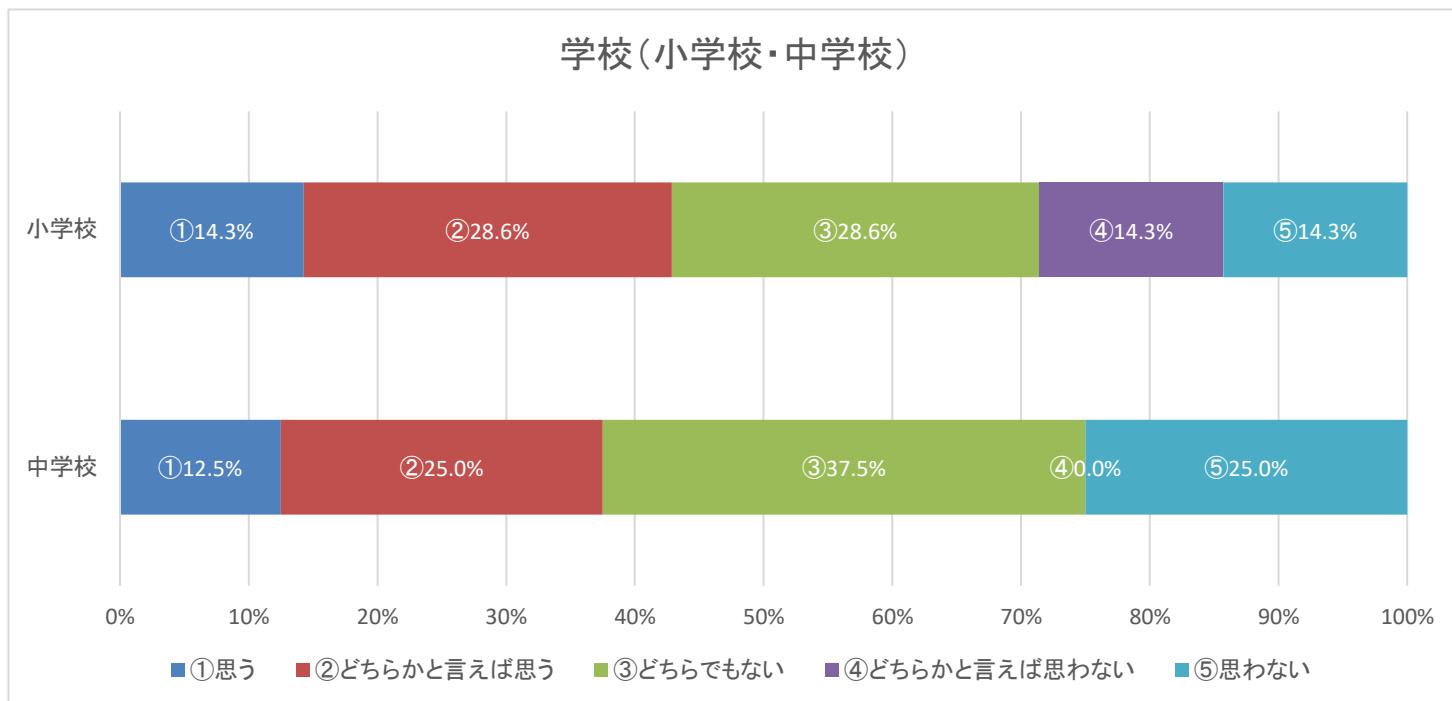
(分析)

「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、小学校の地域団体関係者の80.0%、中学校の地域団体関係者の46.7%が、学校選択制によって、自分の地域の学校における情報発信が充実してきたと回答している。

「思わない」「どちらかと言えば思わない」という回答は、小学校の地域団体関係者、中学校の地域団体関係者ともに20.0%で、「わからない」と、中学校の地域団体関係者の33.3%が回答している。

⑥学校選択制によって、あなたの学校における情報発信(学校だより、ホームページの更新など)が充実してきたと思いますか。

【学校状況調査:問7】<1つだけ回答>



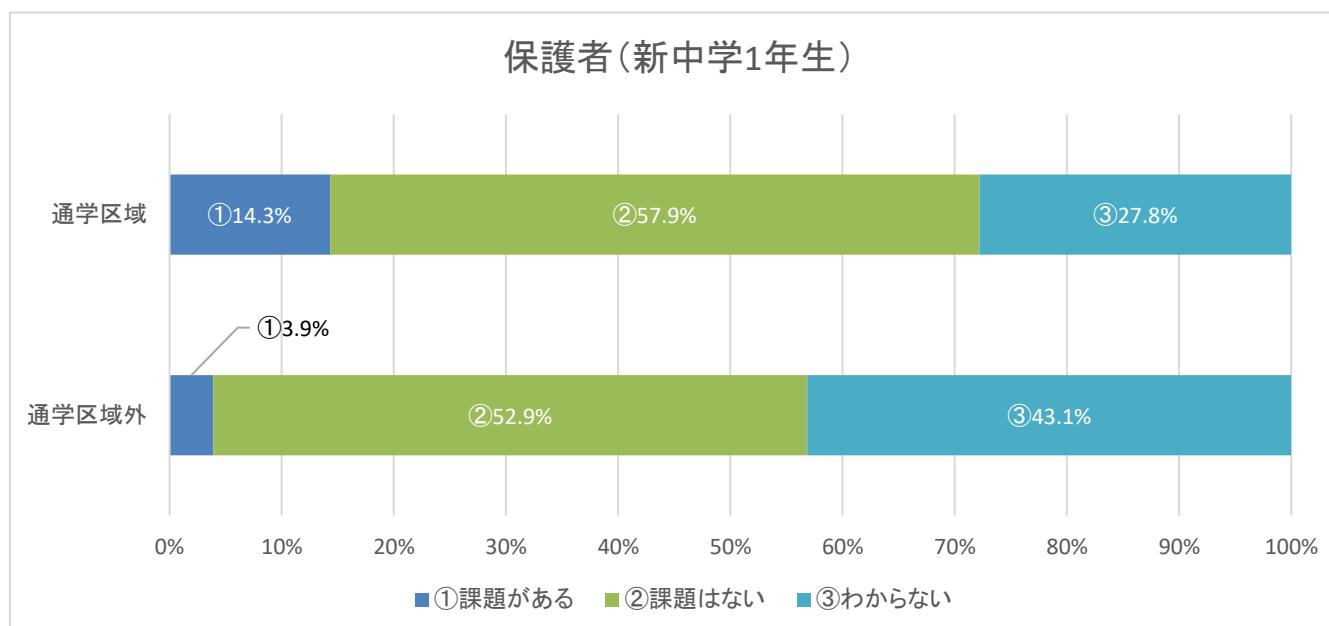
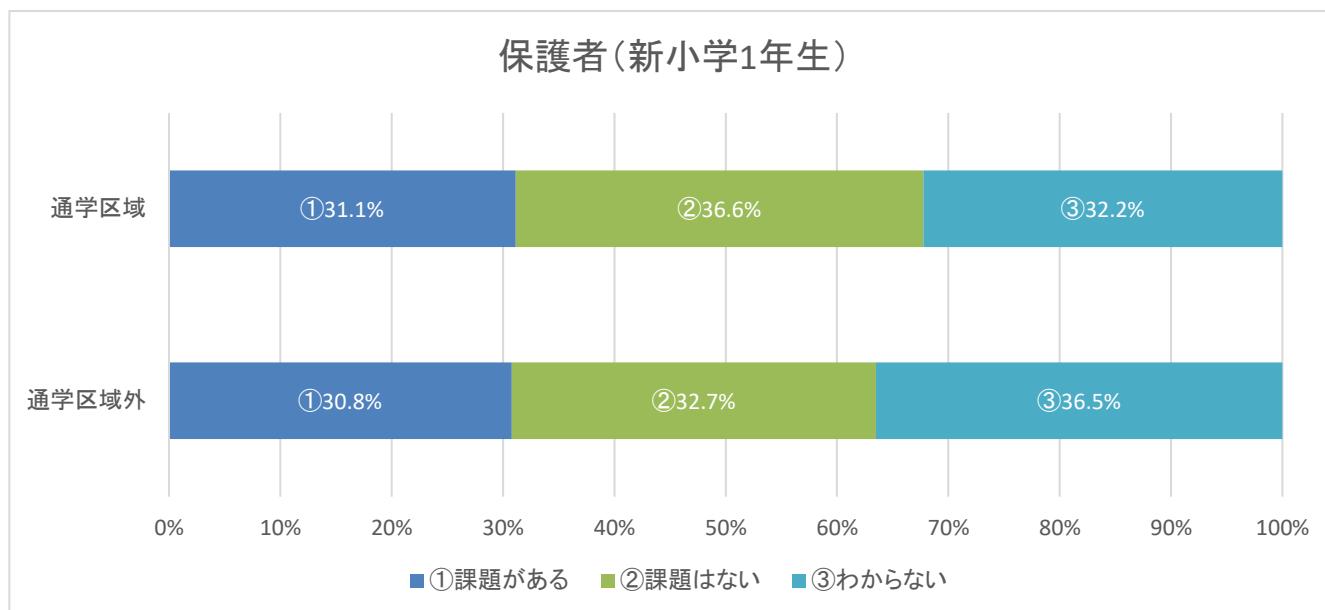
(分析)
 「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、小学校で42.9%、中学校で37.5%が、学校選択制によって、自分の学校における情報発信が充実してきたと回答しているが、小学校の28.6%、中学校の37.5%が「どちらでもない」と回答している。
 また、「思わない」「どちらかと言えば思わない」という回答は、小学校で28.6%、中学校で25.0%であった。

【視点⑥総括】
 通学区域の学校を選択した保護者の約32%、通学区域外の学校を選択した保護者の約37%、地域団体関係者の約54%が、学校選択制によって、学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組みが充実したと回答しているが、通学区域の学校を選択した保護者の約32%、通学区域外の学校を選択した保護者の約26%、地域団体関係者の約21%が、「思わない」「どちらかと言えば思わない」と回答している。また、「わからない」という回答は、通学区域の学校を選択した保護者の約35%、通学区域外の学校を選択した保護者の約37%、地域団体関係者の25%だった。
 通学区域の学校を選択した保護者の約60%、通学区域外の学校を選択した保護者の71%、地域団体関係者の約63%が、学校選択制によって、学校における情報発信が充実してきたと回答しているが、通学区域の学校を選択した保護者の約16%、通学区域外の学校を選択した保護者の約15%、地域団体関係者の20%が、「思わない」「どちらかと言えば思わない」と回答している。また、「わからない」という回答は、通学区域の学校を選択した保護者の約24%、通学区域外の学校を選択した保護者の約15%、地域団体関係者の約17%だった。

【視点⑥】 児童生徒の通学の安全に課題が生じていないか。

①あなたのお子さんの通学の安全に課題が生じていると思いますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問15、保護者アンケート(新中学1年生):問15】<1つだけ回答>



【具体的な課題】

○「課題がある」保護者(新小学1年生)

- ・交通量が多く、車や自転車がスピードを出している。(68件)
- ・人通りが少なく、不審者が心配。(31件)
- ・歩道に信号やガードレールが無い。(14件)
- ・途中に踏切がある。(11件)

○「課題がある」保護者(新中学1年生)

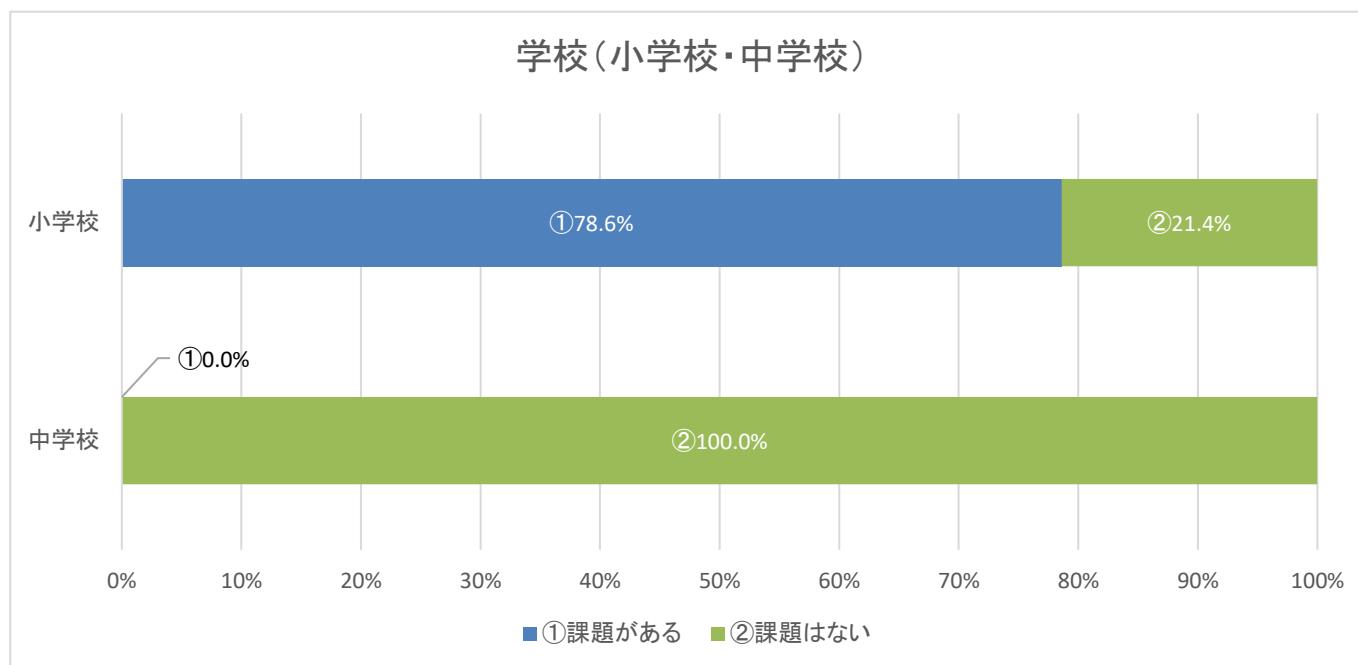
- ・人通りが少なく、不審者が心配。(13件)
- ・途中に踏切がある。(7件)
- ・交通量が多く、車や自転車がスピードを出している。(6件)
- ・ハトやカラスにエサをやっている人がいて、数が増え糞が心配。(5件)
- ・信号のないところを横断する。(2件)

(分析)

通学区域の学校を選択した保護者では、小学校で31.1%、中学校で14.3%、通学区域外の学校を選択した保護者では、小学校で30.8%、中学校で3.9%の方が通学の安全に「課題がある」と回答しているが、通学の安全に「課題はない」という回答は、通学区域の学校を選択した保護者では、小学校で36.6%、中学校で57.9%、通学区域外の学校を選択した保護者では、小学校で32.7%、中学校で52.9%となっており、どちらも「課題がある」という回答を上回っている。

②あなたの学校において、学校選択制により、通学の安全に課題が生じていますか。

【学校状況調査:問9】 <1つだけ回答>



【具体的な課題事例】

- ・保護者による通学の安全確保が不十分。(4件)
- ・通学地域が広がり、地区別下校班の班編成が難しい。(2件)
- ・災害時に通学区域から来ている子どもの安全確保。(1件)
- ・踏切を渡っての通学。(1件)
- ・自転車や自動車による送り迎えの増加。(1件)

(分析)
小学校では、78.6%が通学の安全に「課題がある」と回答しているが、中学校では100%通学の安全に「課題はない」と回答している。

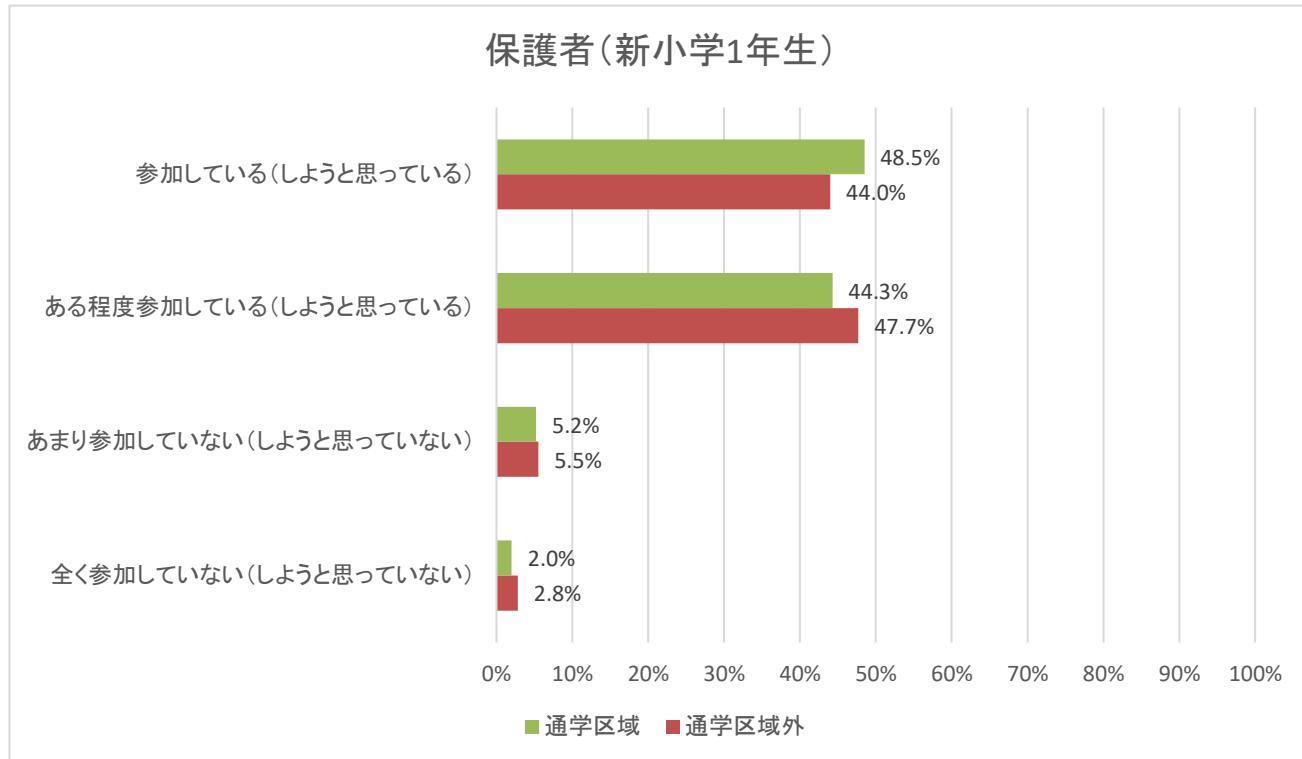
【視点◎総括】

小学校で通学区域の学校を選択した保護者の約31%、通学区域外の学校を選択した保護者の約31%、中学校で通学区域の学校を選択した保護者の約14%、通学区域外の学校を選択した保護者の約4%が通学の安全に「課題がある」と回答している。具体的な課題としては、「交通量が多く、車や自転車がスピードを出している」「人通りが少なく、不審者が心配」「信号やガードレールが無い」「踏切がある」などが多かった。
小学校では、約79%が通学の安全に「課題がある」と回答しているが、中学校では100%通学の安全に「課題はない」と回答している。

【視点⑦】 学校と地域、保護者の連携に課題が生じていないか。

①あなたは、お子さんが通っている学校の行事(運動会、授業参観など)や、PTAの活動(親子レクリエーション、登下校の見守りなど)に参加していますか、又は今後参加しようと思っていますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問13、保護者アンケート(新中学1年生):問13】<1つだけ回答>



【理由】

○「参加している」「ある程度参加している」保護者(新小学1年生)

- ・学校での子どもの様子や学校の雰囲気等を見たいから。(62件)
- ・子どものために役立ちたいから。(10件)
- ・教員や保護者同士のつながりができるから。(6件)

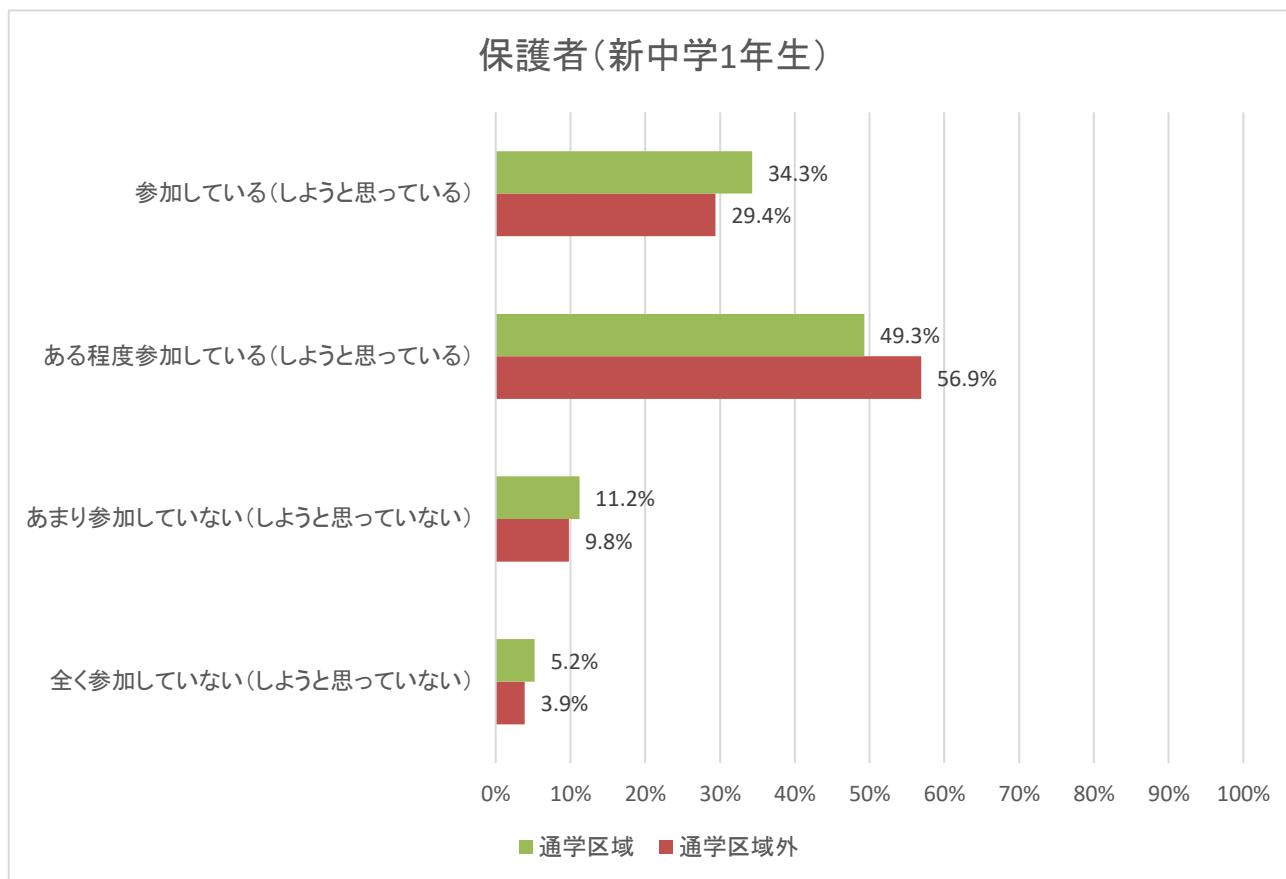
○「全く参加していない」「あまり参加していない」保護者(新小学1年生)

- ・仕事で時間が取れないから。(14件)
- ・下にまだ小さい子どもがいるから。(2件)

(分析)

通学区域の学校を選択した保護者では92.8%、通学区域外の学校を選択した保護者では91.7%が、学校の行事やPTA活動に「参加している」又は「参加しようと思っている」と回答しており、大きな差はない。

「全く参加していない」「あまり参加していない」と回答した方は、通学区域の学校を選択した保護者では7.2%、通学区域外の学校を選択した保護者では8.3%となっており、こちらも大きな差はない。



【理由】

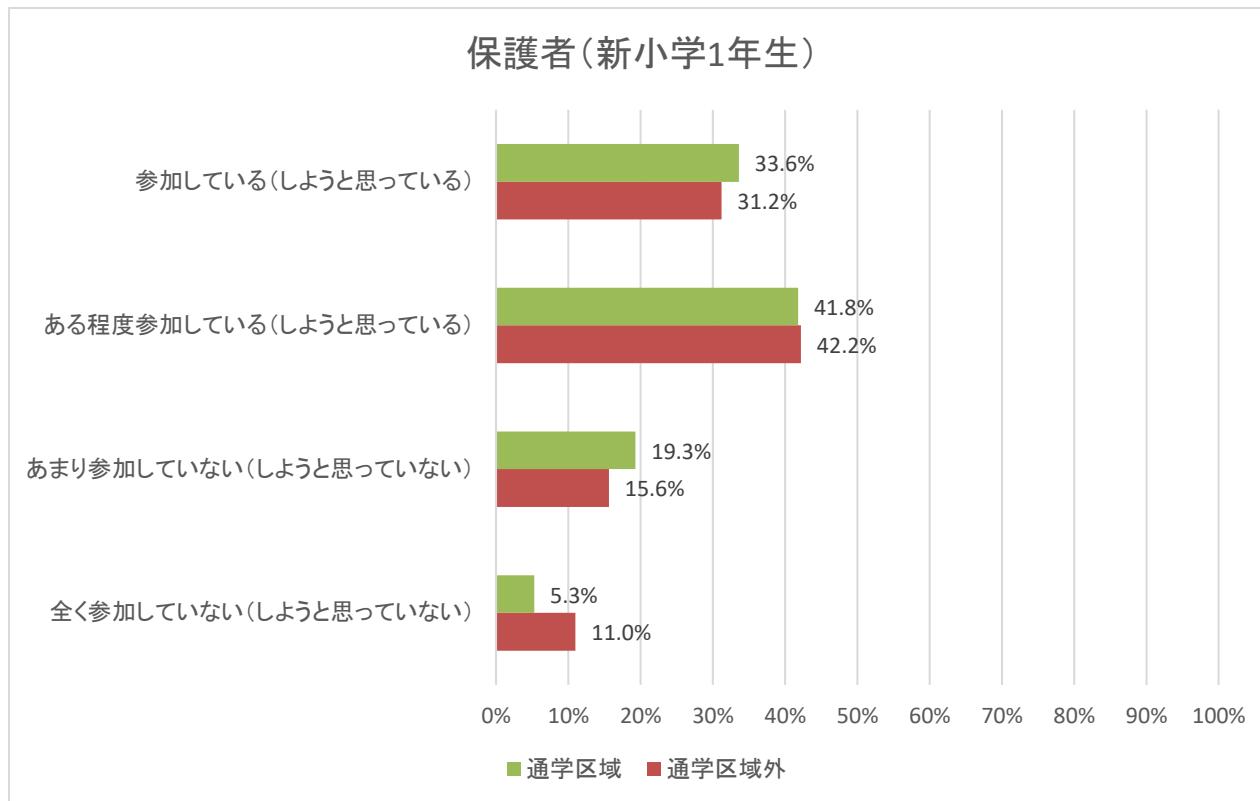
- 「参加している」「ある程度参加している」保護者(新中学1年生)
 - ・学校での子どもの様子や学校の雰囲気等を見たいから。(62件)
 - ・子供のために役立ちたいから。(10件)
 - ・教員や保護者同士のつながりができるから。(6件)

- 「全く参加していない」「あまり参加していない」保護者(新中学1年生)
 - ・仕事で時間が取れないから。(14件)

(分析)
 通学区域の学校を選択した保護者では83.6%、通学区域外の学校を選択した保護者では86.3%が、学校の行事やPTA活動に「参加している」又は「参加しようと思っている」と回答しており、大きな差はない。
 「全く参加していない」「あまり参加していない」と回答した方は、通学区域の学校を選択した保護者では16.4%、通学区域外の学校を選択した保護者では13.7%となっており、こちらも大きな差はない。

②あなたのお子さんは、住んでいる地域の行事(祭り等)に参加していますか、又は今後参加しようと思っていますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問14、保護者アンケート(新中学1年生):問14】<1つだけ回答>

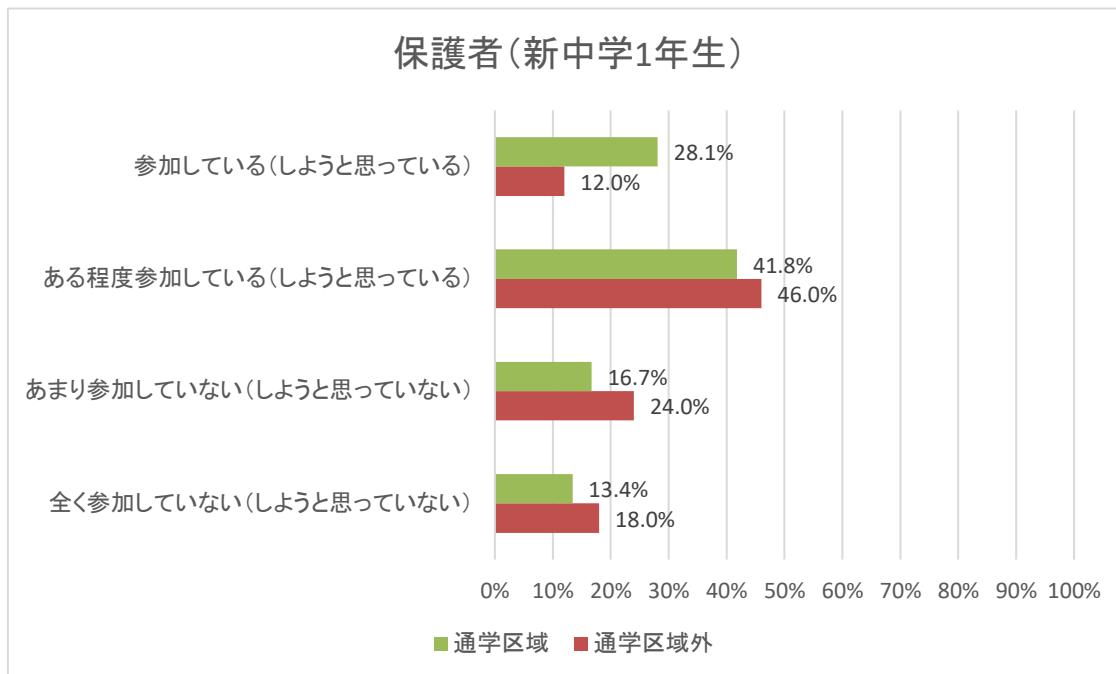


【理由】

- 「参加している」「ある程度参加している」保護者(新小学1年生)
 - ・子どもが楽しみにしているから。(21件)
 - ・地域や保護者同士のつながりができるから。(18件)
 - ・いろんな経験をさせたいから。(9件)
 - ・友達が行くから。(9件)

- 「全く参加していない」「あまり参加していない」保護者(新小学1年生)
 - ・地域行事の情報が入ってこないから。(35件)
 - ・子どもが参加したがるから。(15件)
 - ・地域行事が少ない(ない)から。(13件)
 - ・仕事で時間が取れないから。(5件)
 - ・習い事等で時間がないから。(3件)
 - ・下に小さい子どもがいるから。(3件)
 - ・付き合いが面倒だから。(3件)
 - ・参加しにくい雰囲気があるから。(2件)
 - ・通学区域外の学校へ通っているから。(1件)
 - ・コロナウィルス感染が心配だから。(1件)

(分析)
 通学区域の学校を選択した保護者では75.4%、通学区域外の学校を選択した保護者では73.4%が、住んでいる地域の行事に「参加している」又は「参加しようと思っている」と回答しており、大きな差はない。
 「全く参加していない」「あまり参加していない」と回答した方は、通学区域の学校を選択した保護者では24.6%、通学区域外の学校を選択した保護者では26.6%となっており、こちらも大きな差はない。



【理由】

○「参加している」「ある程度参加している」保護者(新中学1年生)

- ・友達に誘われるから。(18件)
- ・子どもが参加したがるから。(17件)
- ・地域とのつながりができるから。(12件)
- ・いろんな経験ができるから。(3件)

○「全く参加していない」「あまり参加していない」保護者(新中学1年生)

- ・部活動や習い事で時間がないから。(23件)
- ・地域行事が少ない(ない)から。(18件)
- ・地域行事の情報が入ってこないから。(15件)
- ・子どもが参加したがるから。(11件)

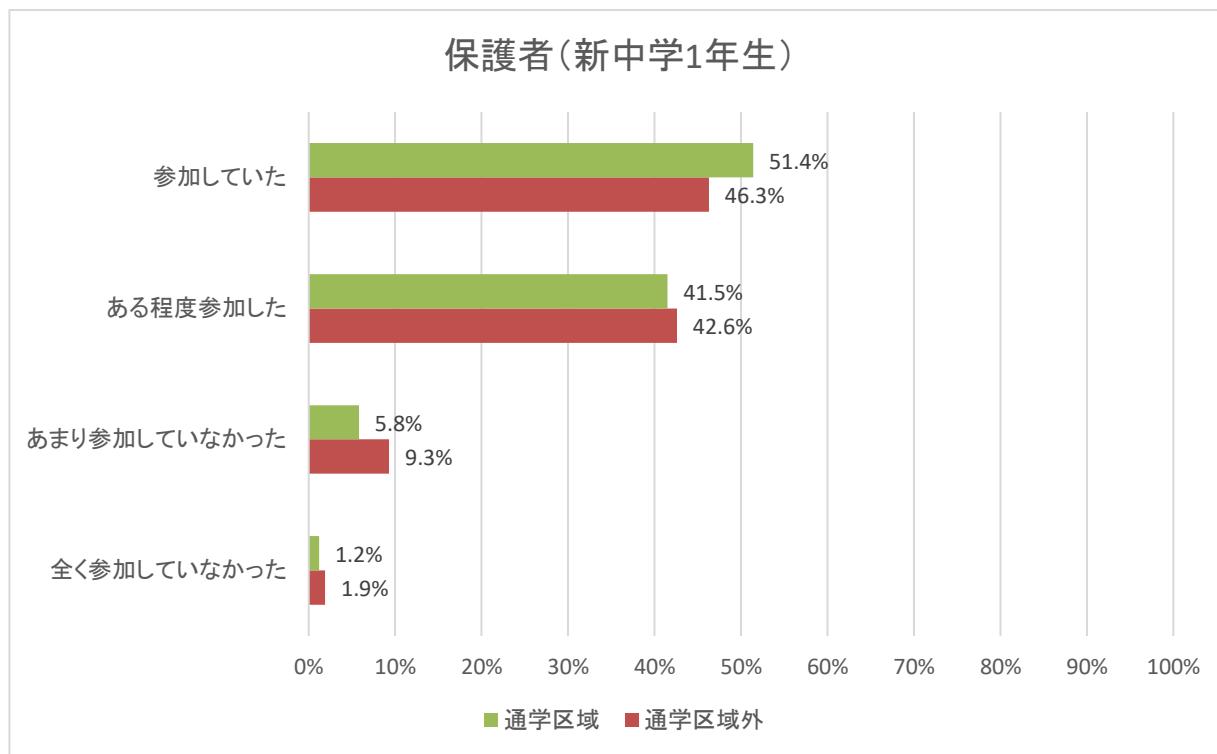
(分析)

通学区域の学校を選択した保護者では69.9%、通学区域外の学校を選択した保護者では58.0%が、住んでいる地域の行事に「参加している」又は「参加しようと思っている」と回答しており、通学区域の学校を選択した保護者の割合が上回っている。

「全く参加していない」「あまり参加していない」と回答した方は、通学区域の学校を選択した保護者では30.1%、通学区域外の学校を選択した保護者では42.0%となっており、こちらは通学区域外の学校を選択した保護者の割合が上回っている。

③あなたは、お子さんが卒業した小学校(運動会、授業参観など)の行事や、PTAの活動(親子レクリエーション、登下校の見守りなど)にどの程度参加しましたか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問20】<1つだけ回答>



【理由】

○「参加していた」「ある程度参加した」保護者(新中学1年生)

- ・子どもの様子や成長を見たかったから。(80件)
- ・PTAの役員だったから。(26件)
- ・子どもや学校のためになるから。(12件)
- ・子どもが喜ぶから。(11件)
- ・教員や保護者同士のつながりができるから。(5件)

○「全く参加していなかった」「あまり参加していなかった」保護者(新中学1年生)

- ・仕事で時間が取れなかったから。(15件)
- ・興味がなかったから。(1件)
- ・体調が悪かったから。(1件)

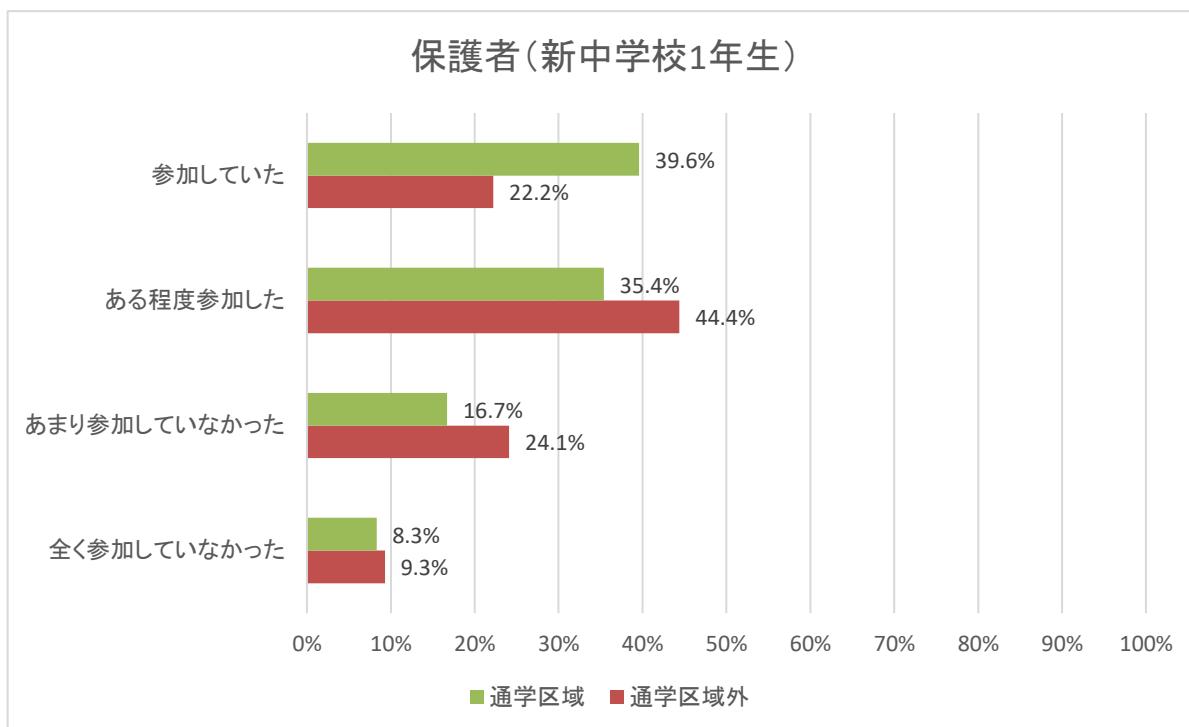
(分析)

通学区域の学校を選択した保護者では92.9%、通学区域外の学校を選択した保護者では88.9%が、子どもが卒業した小学校の行事やPTAの活動に「参加していた」「ある程度参加した」と回答しており、通学区域の学校を選択した保護者の割合が上回っている。

「全く参加していなかった」「あまり参加していなかった」と回答した方は、通学区域の学校を選択した保護者では7.0%、通学区域外の学校を選択した保護者では11.2%となっており、こちらは通学区域外の学校を選択した保護者の割合が上回っている。

④あなたのお子さんは、小学校のときに住んでいる地域の行事(祭り等)に参加していましたか

【保護者アンケート(新中学1年生):問21】<1つだけ回答>



【理由】

○「参加していた」「ある程度参加した」保護者(新中学1年生)

- ・子どもが楽しみにしていたから。(32件)
- ・友達が行くから。(29件)
- ・保護者が地域の役員や委員をしていたから。(12件)
- ・地域とのつながりができるから。(11件)
- ・子ども会に入っていたから。(10件)
- ・いろんな経験をさせたかったから。(4件)

○「全く参加していなかった」「あまり参加していなかった」保護者(新中学1年生)

- ・習い事等で時間がなかったから。(20件)
- ・地域行事が少なかった(なかった)から。(13件)
- ・興味がなかったから。(12件)
- ・地域行事の情報が入ってこなかったから。(9件)
- ・保護者が仕事で時間が取れなかったから。(4件)
- ・通学区域外にしか友だちがいなかったから。(2件)
- ・下に小さい子どもがいたから。(1件)
- ・体調が悪かったから。(1件)

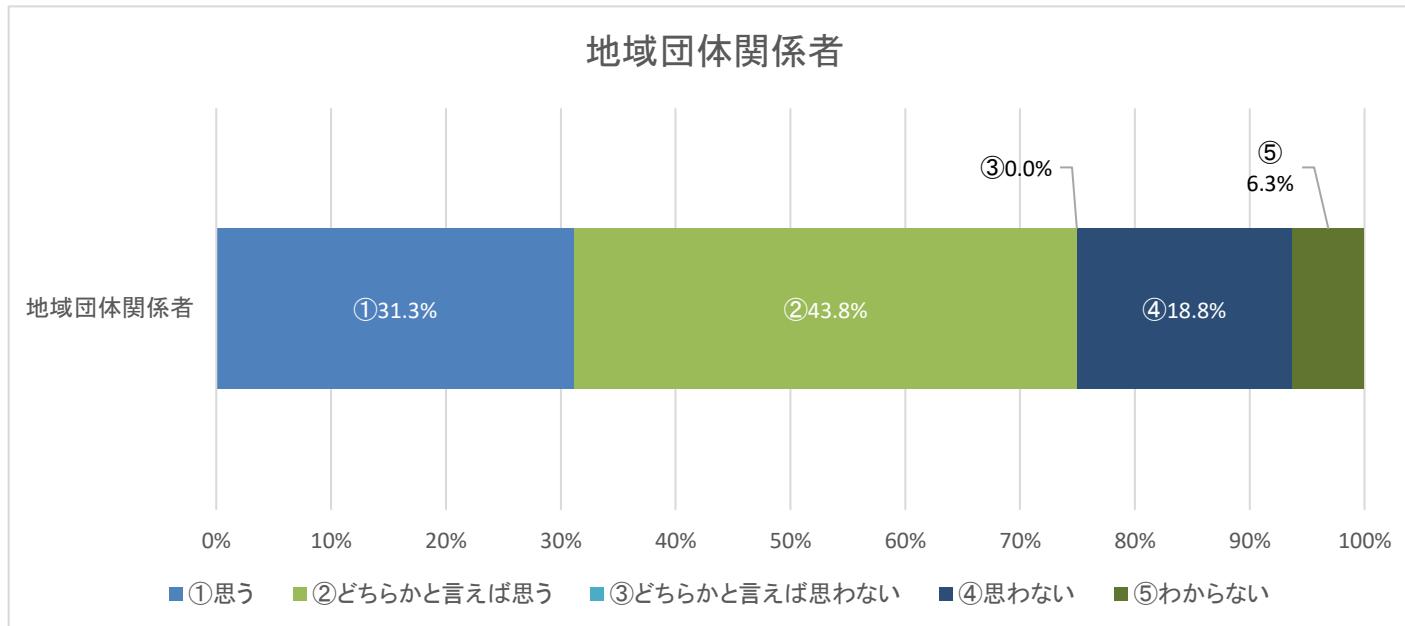
(分析)

通学区域の学校を選択した保護者では75.0%、通学区域外の学校を選択した保護者では66.6%が、子どもが小学校の時に住んでいる地域の行事に「参加していた」「ある程度参加していた」と回答しており、通学区域の学校を選択した保護者の割合がやや上回っている。

「全く参加していなかった」「あまり参加していなかった」と回答した方は、通学区域の学校を選択した保護者では25.0%、通学区域外の学校を選択した保護者では33.4%となっており、通学区域外の学校を選択した保護者の割合が上回っている。

⑤「地域の繋がりが薄くなっている」という意見がありますが、あなたはどのように思いますか。

【地域団体関係者アンケート:問3】 <1つだけ回答>



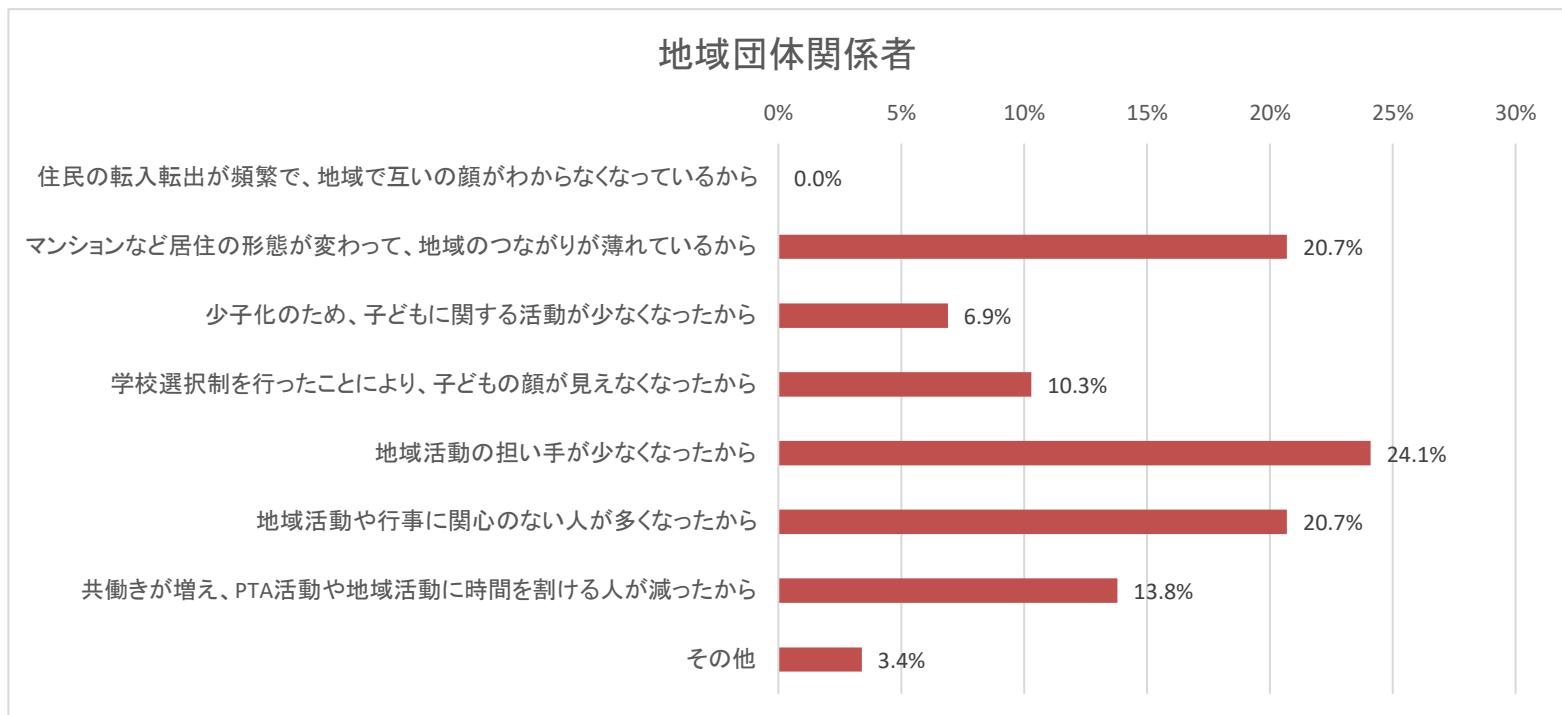
(分析)

「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、地域団体関係者の75.1%が、地域の繋がりが薄くなっていると回答している。「思わない」「どちらかと言えば思わない」という回答は、18.8%だった。

⑥上記の設問で「思う」「どちらかと言えば思う」とお答えいただいた方にお尋ねします。

それは何が原因だと思いますか。

【地域団体関係者アンケート:問4】<3つまで回答可>

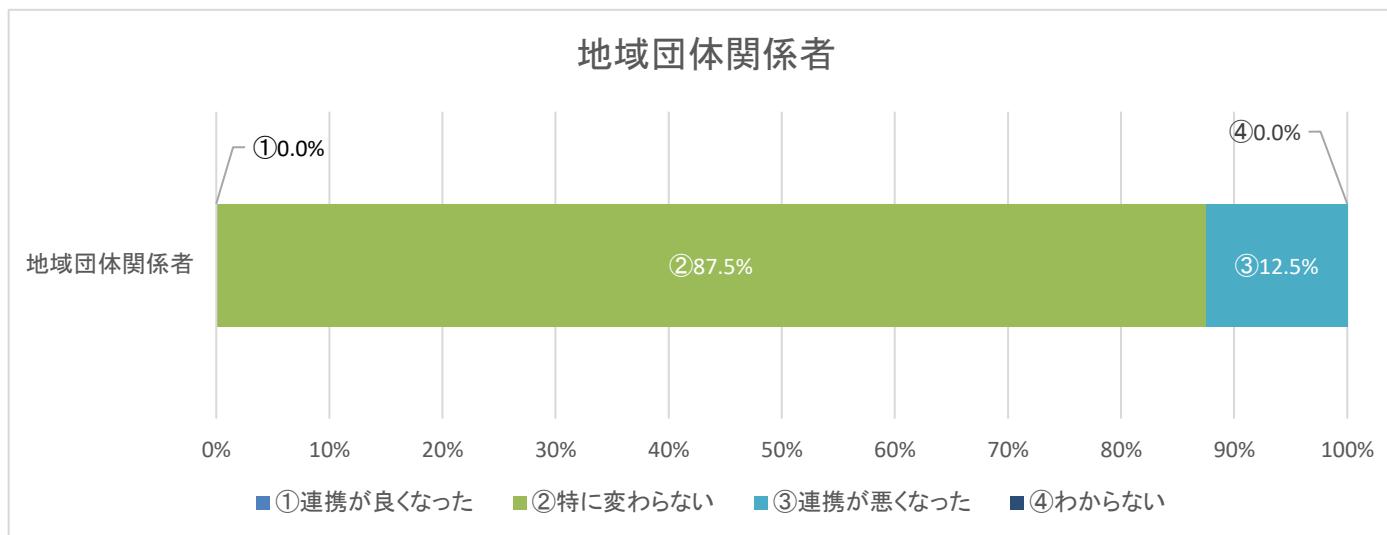


(分析)

地域の繋がりが薄くなっていると回答された方の理由としては、「地域活動の担い手が少なくなった」「マンションなど居住の形態が変わって、地域のつながりが薄れている」「地域活動や行事に関心のない人が多くなった」などが多かった。学校選択制を原因にあげている回答は、10.3%だった。

⑦学校選択制の導入により、あなたの地域における学校と地域の連携にどのような影響がありましたか。

【地域団体関係者アンケート:問5】<1つだけ回答>



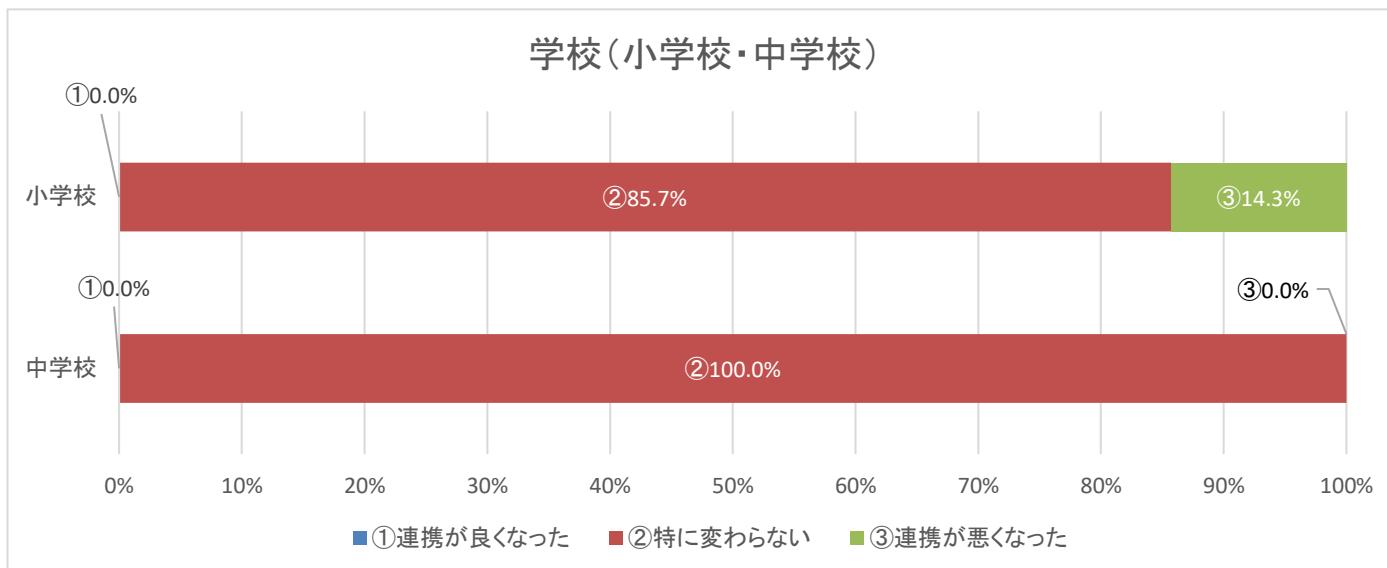
【そのように考えた具体的な出来事など】

- 「連携が悪くなった」地域団体関係者
 - ・中学校の新しい取り組みに対し、小学校との連携が図れていない。

(分析)
 学校選択制の導入による地域における学校と地域の連携への影響については、地域団体関係者の87.5%が、特に変わらないと回答している。悪くなったという回答は、12.5%だった。

⑧学校選択制の導入により、あなたの学校における学校と地域、保護者の連携にどのような影響がありましたか。

【学校状況調査:問11】 <1つだけ回答>



【そのように考えた具体的な出来事など】

- 「連携が悪くなった」学校(小学校)
 - ・PTAと地域の連携において、通学区域外の保護者や子どもは関わりにくい。
 - ・学校と地域の共催行事で子どもを地域ごとに分ける場合、地域に属さない子どもが出てくる。

(分析)
 学校選択制導入による地域における学校と地域、保護者の連携への影響については、小学校で85.7%、中学校で100%が、特に変わらないと回答している。悪くなったという回答は、小学校で14.3%だった。

【視点⑦総括】

小学校では、通学区域の学校を選択した保護者の約93%、通学区域外の学校を選択した保護者の約92%が、学校の行事やPTA活動に「参加している」又は「ある程度参加している」と回答しており、大きな差はない。

中学校では、通学区域の学校を選択した保護者の約84%、通学区域外の学校を選択した保護者の約86%が、学校の行事やPTA活動に「参加している」又は「ある程度参加している」と回答しており、こちらも大きな差はない。

小学校では、通学区域の学校を選択した保護者の約75%、通学区域外の学校を選択した保護者の約73%が、住んでいる地域の行事に「参加している」又は「ある程度参加している」と回答しており、大きな差はない。

「全く参加していない」又は「あまり参加していない」という回答の理由としては、「地域行事の情報が入ってこない」「子どもが参加したがない」「地域行事が少ない(ない)」などが多かった。

中学校では、通学区域の学校を選択した保護者の約70%、通学区域外の学校を選択した保護者の58%が、住んでいる地域の行事に「参加している」又は「ある程度参加している」と回答しており、通学区域の学校を選択した保護者の割合が上回っている。

「全く参加していない」又は「あまり参加していない」という回答の理由としては、「部活動や習い事で時間がない」「地域行事が少ない(ない)」「地域行事の情報が入ってこない」などが多かった。

通学区域の学校を選択した保護者の約93%、通学区域外の学校を選択した保護者の約89%が、子どもが卒業した小学校の行事やPTAの活動に「参加していた」又は「ある程度参加した」と回答しており、大きな差はない。

通学区域の学校を選択した保護者の75%、通学区域外の学校を選択した保護者の約67%が、子どもが小学校の時に住んでいる地域の行事に「参加していた」又は「ある程度参加した」と回答しており、通学区域の学校を選択した保護者の割合が上回っている。

地域団体関係者の約75%が、地域の繋がりが薄くなっていると回答している。理由としては、「地域活動の担い手が少なくなった」「マンションなど居住の形態が変わって、地域のつながりが薄れている」「地域活動や行事に関心のない人が多くなった」などが多かった。

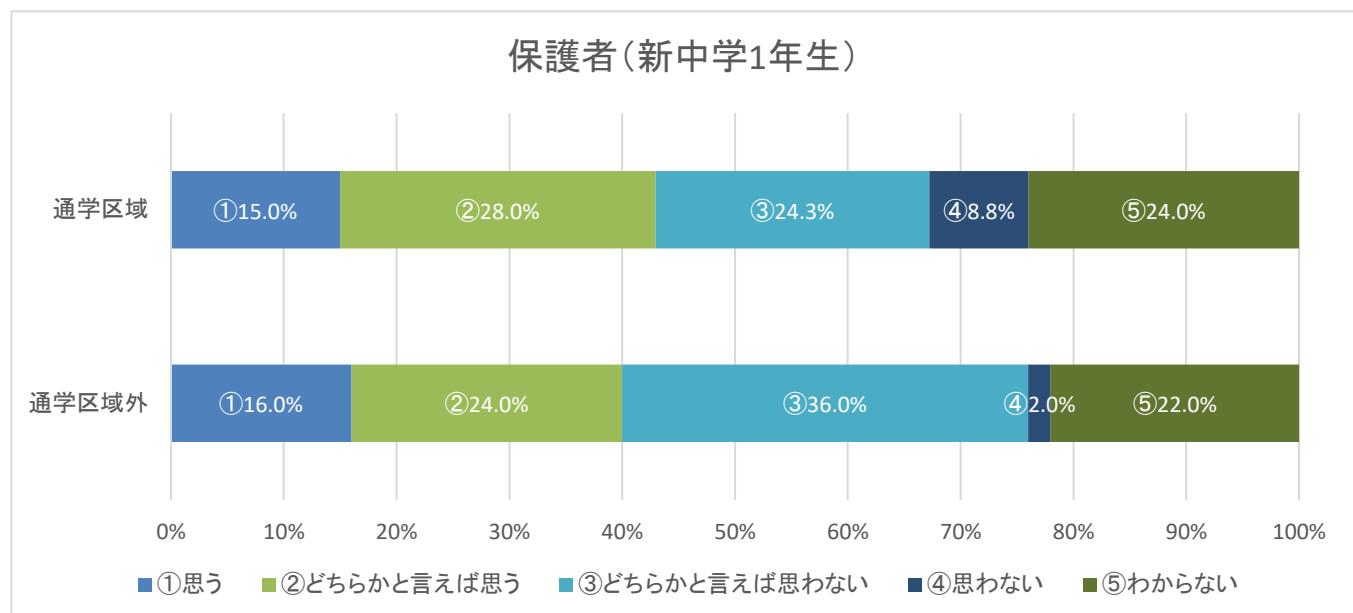
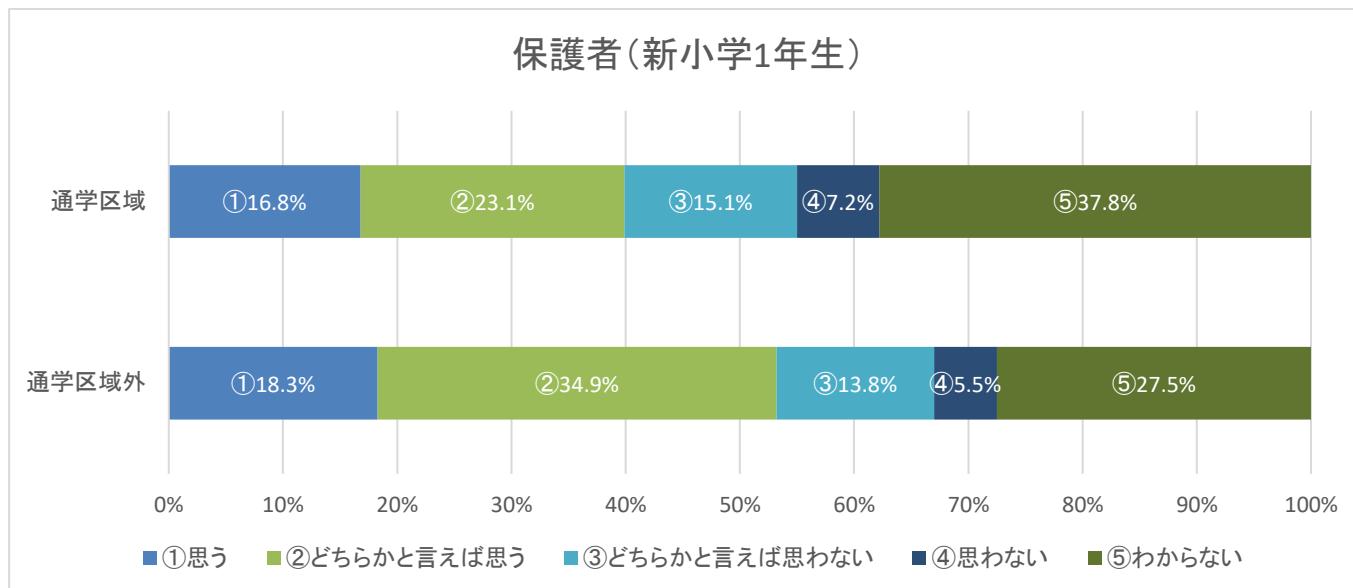
地域団体関係者の約88%が、学校選択制の導入による地域における学校と地域の連携について、特に変わらないと回答している。

小学校の約86%、中学校の100%が、学校選択制の導入による学校における学校と地域、保護者への影響について、特に変わらないと回答している。

【視点⑧】 区や学校が提供する情報ではなく、風評等による学校の選択がなされていないか。

①大阪市では、学校案内や学校説明会、学校公開等において、各校の情報を提供しています。あなたや他の方も含め、風評(うわさ)等による学校の選択が行われていると思いますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問16、保護者アンケート(新中学1年生):問16】<1つだけ回答>



【具体的な風評の内容】

- 「思う」「どちらかと言えば思う」保護者(新小学1年生)
 - ・暴力やいじめなど子どもの問題行動に関すること。(75件)
 - ・校風や指導方法に関すること。(33件)
 - ・学力に関すること。(14件)
 - ・在校生の保護者に関すること。(10件)
 - ・学校の設備等に関すること。(3件)
- 「思う」「どちらかと言えば思う」保護者(新中学1年生)
 - ・暴力やいじめなど子どもの問題行動に関すること。(55件)
 - ・校風や指導方法に関すること。(39件)
 - ・学力に関すること。(24件)
 - ・在校生の保護者に関すること。(5件)

(分析)

通学区域の学校を選択した保護者では、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、小学校で39.9%、中学校で43.0%の方が、風評等による学校の選択が行われていると思うと回答している。

通学区域外の学校を選択した保護者では、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせて、小学校で53.2%、中学校で40.0%の方が、風評等による学校の選択が行われていると思うと回答している。

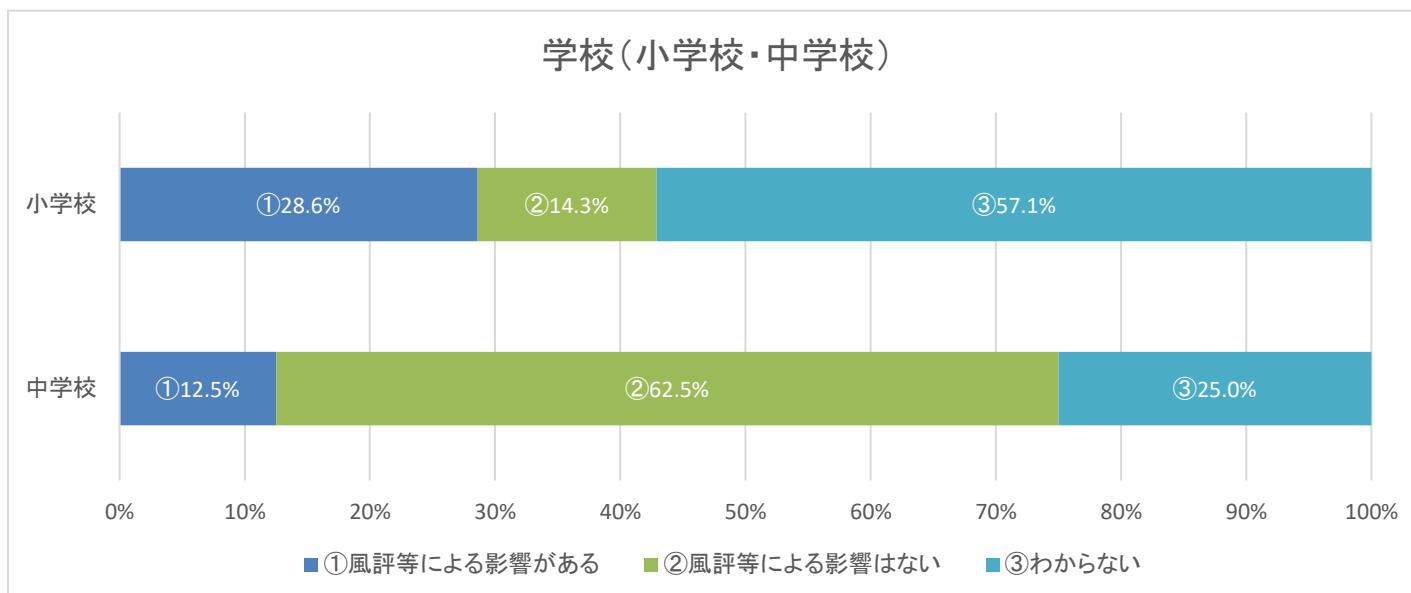
具体的な風評の内容としては、小学校、中学校とも、「暴力やいじめなど子どもの問題行動に関する事」「校風や指導方法に関する事」「学力に関する事」などが多かった。

「思わない」「どちらかと言えば思わない」という回答は、通学区域の学校を選択した保護者では、小学校で22.3%、中学校で33.1%、通学区域外の学校を選択した保護者では、小学校で19.3%、中学校で38.0%となっている。

「わからない」という回答は、通学区域の学校を選択した保護者では、小学校で37.8%、中学校で24.0%、通学区域外の学校を選択した保護者では、小学校で27.5%、中学校で22.2%となっている。

②区や学校が提供する情報ではない風評(うわさ)等による学校選択によって、あなたの学校に影響がありますか。

【学校状況調査:問12】<1つだけ回答>



【そう考えた具体的な出来事等】

- 「風評等による影響がある」学校(小学校)
 - ・昔の悪い噂がインターネット上で削除されずに残っている。
 - ・一部の保護者間の噂がSNSで短時間に広まる。
 - ・特別支援教育が手厚いという噂があり、問い合わせや見学の対応で教育活動に影響が出る。
- 「風評等による影響がある」学校(中学校)
 - ・通学区域内で入学予定の子どもに関する噂で、多くの子どもが通学区域外の学校を選択したことがある。

(分析)
 小学校では28.6%、中学校では12.5%が、「風評等による学校選択制によって、学校に影響がある」と回答している。「影響はない」という回答は、小学校で14.3%、中学校で62.5%だった。

③学校選択にあたり、区役所や学校から提供されていた情報のほかに、どのような情報があればよかったですか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問17、保護者アンケート(新中学1年生):問17】<自由記述>

- 保護者(新小学1年生)
 - ・在校生と卒業生や保護者の意見(26件)
 - ・PTAの有無、活動内容(5件)
 - ・教員に関する情報(3件)
 - ・その他(28件)
- 保護者(新中学1年生)
 - ・在校生と卒業生や保護者の意見(29件)
 - ・教員に関する情報(7件)
 - ・学力や進路に関する詳しい情報(7件)
 - ・部活動に関する詳しい情報(3件)
 - ・その他(13件)

(分析)
 小学校、中学校とも、学校選択にあたり、区役所や学校から提供された情報のほかには、「在校生と卒業生や保護者の意見などの情報があればよかった」という回答が多かった。

【視点⑨総括】

小学校では、通学区域の学校を選択した保護者の約40%、通学区域外の学校を選択した保護者の約53%、中学校では通学区域の学校を選択した保護者の43%、通学区域外の学校を選択した保護者の40%が、「風評等による学校の選択が行われていると思う」と回答している。

具体的な内容としては、小学校、中学校とも、「暴力やいじめなど子どもの問題行動に関すること」「校風や指導方法に関すること」「学力に関すること」などが多かった。

小学校の約29%、中学校の約13%が、「風評等による学校選択制によって、学校に影響がある」と回答しているが、「影響がない」という回答は、小学校で約14%、中学校で約63%だった。

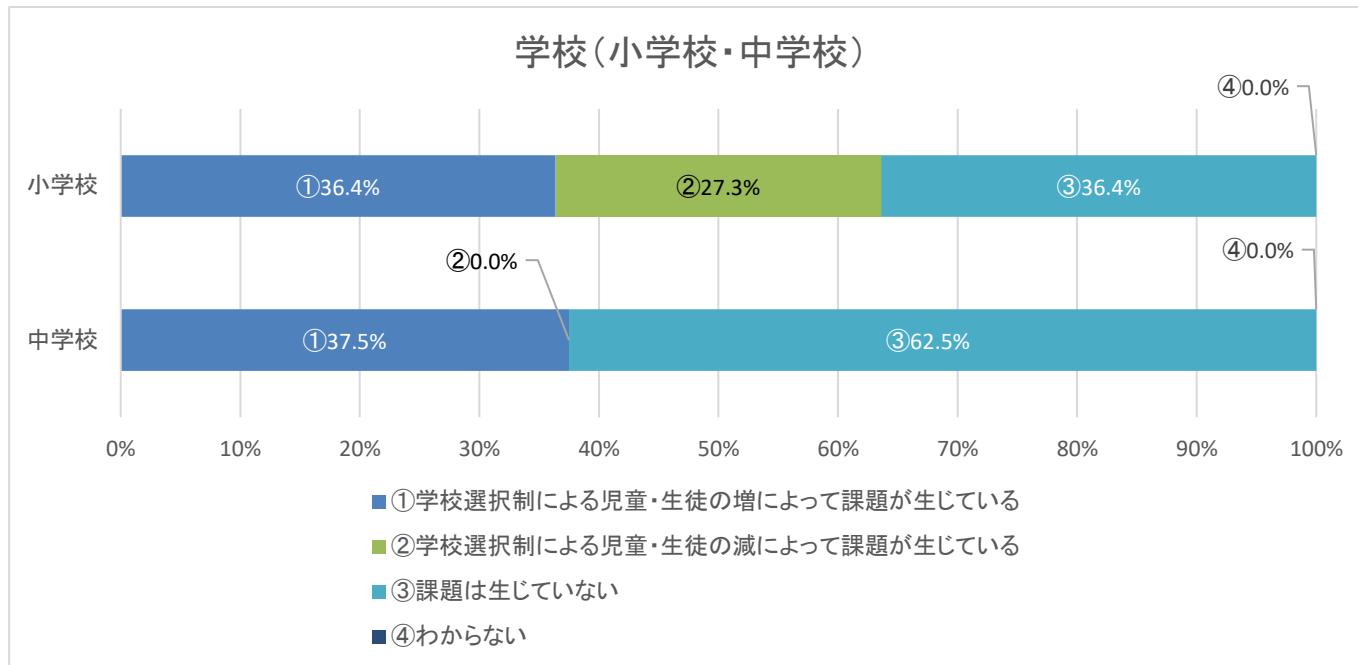
また、小学校の約57%、中学校の25%は、「わからない」と回答している。

小学校、中学校とも、学校選択にあたり、区役所や学校から提供された情報のほかには、「在校生と卒業生や保護者の意見などの情報があればよかった」という回答が多かった。

【視点⑨】 学校選択制による児童生徒数の増減で、教育的課題が生じていないか。

①学校選択制による児童・生徒の増減で、あなたの学校に教育的課題が生じていますか。

【学校状況調査：問13】<1つだけ回答>



【理由】

- 「課題が生じている」学校（小学校・中学校）
 - ・支援を要する子どもの人数が増え、人手が不足している。
 - ・子どもの人数が上限に近くなると指定校変更などで増えた場合、教室が足りなくなる。
 - ・通学区域からの入学者数が少なく、単学級になる可能性がある。

（分析）

「学校選択制による児童・生徒の増によって教育的課題が生じている」という回答は、小学校で36.4%、中学校で37.5%、「学校選択制による児童・生徒の減によって教育的課題が生じている」という回答は、小学校で27.3%、中学校で0%だった。また、小学校の36.4%、中学校の62.5%が「教育的課題は生じていない」と回答している。

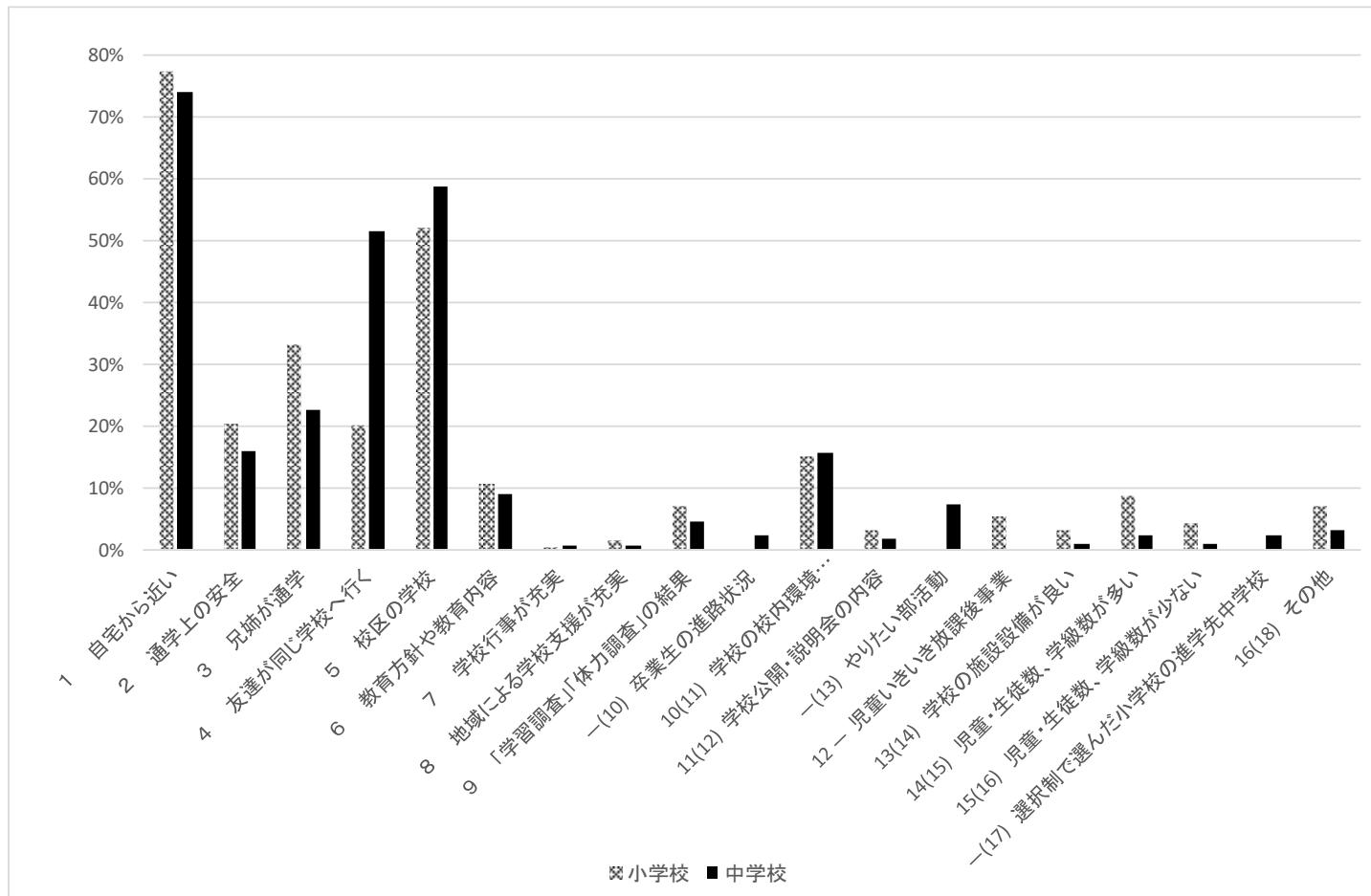
【視点⑨総括】

「学校選択制による児童・生徒の増・減によって教育的課題が生じている」という回答は、小学校で約64%、中学校で約38%となっているが、小学校の約36%、中学校の約63%が「教育的課題は生じていない」と回答している。

【参考】令和2年度学校選択制保護者アンケート（経年調査）より抜粋

問5 どのような理由で学校を選びましたか。（複数回答） () は中学校の選択肢番号

	小学校		中学校		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答者総数	625		487		1,112	
1 自宅から近く、通学しやすいから	484	77.4%	360	73.9%	844	75.9%
2 通学路の状況から、通学上の安全がより確保されているから	128	20.5%	78	16.0%	206	18.5%
3 兄弟が通学しているから	208	33.3%	110	22.6%	318	28.6%
4 友達と同じ学校へ行くから	126	20.2%	251	51.5%	377	33.9%
5 校区の学校だから	325	52.0%	286	58.7%	611	54.9%
6 教育方針や教育内容が良いから	67	10.7%	44	9.0%	111	10.0%
7 修学旅行など学校行事が充実しているから	3	0.5%	3	0.6%	6	0.5%
8 はくくみネットや元気アップなど地域による学校支援が充実しているから	10	1.6%	4	0.8%	14	1.3%
9 「全国学力・学習状況調査」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を見て	45	7.2%	22	4.5%	67	6.0%
— (10) 卒業生の進路状況を見て			11	2.3%		
10 (11) 学校の校内環境（校風、伝統、雰囲気など）が良いから	95	15.2%	77	15.8%	172	15.5%
11 (12) 学校公開・学校説明会の内容が良かったから	20	3.2%	9	1.8%	29	2.6%
— (13) 中学校でやりたい部活動があるから			36	7.4%		
12 — 児童いきいき放課後事業が充実しているから	34	5.4%				
13 (14) 学校の施設設備が良いから	20	3.2%	5	1.0%	25	2.2%
14 (15) 児童・生徒数、学級数が多い学校だから	54	8.6%	11	2.3%	65	5.8%
15 (16) 児童・生徒数、学級数が少ない学校だから	27	4.3%	5	1.0%	32	2.9%
— (17) 選択制で選んだ小学校の進学先中学校だから			12	2.5%	12	1.1%
16 (18) その他、上記以外で校区の学校に行きたくない事情があったなど	45	7.2%	16	3.3%	61	5.5%



【調査・分析のまとめ】

住吉区において、平成26年度の学校選択制導入時に通学区域外の学校を選択した保護者の割合は、小学校で8.1%、中学校で5.5%だったが、毎年少しずつ増加し、令和2年度には、小学校で15.1%、中学校で10.4%となっている。

今回のアンケートでは、制度導入時に制度を利用して小学校を選択した保護者(新中学校1年生)の90%以上が子どもが卒業した小学校に満足しており、新小学校1年生の保護者を合わせて80%近く、地域団体関係者では43%以上の方が、「学校選択制は子どもや保護者、学校教育にとって良い制度である」と回答している。

当初期待されていた②子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができる③子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになる④特色ある学校づくりが進む⑤開かれた学校づくりが進むなどのメリットについても、すべての項目で保護者の回答は、肯定の割合が否定の割合を上回っている。

また、懸念されていた⑥通学の安全⑦学校と地域、保護者の連携⑧風評等による学校選択などの課題については、⑥通学の安全に「課題はない」という回答が、「課題がある」という割合を上回っている⑦地域行事への参加率は、小学校、中学校とも、通学区域の学校を選択した保護者と通学区域外の学校を選択した保護者に大きな差はない。⑧小学校の保護者の約47%、中学校の保護者の約42%が風評(うわさ)等による選択が行われていると思うと回答しているが、一方で、同時に実施した保護者アンケート(経年調査)では、学校を選んだ理由として、「自宅から近く、通学しやすいから」(小学校77.4%、中学校73.9%)、「校区の学校だから」(小学校52%、中学校58.7%)、「友達が同じ学校に行くから」(小学校20.2%、中学校51.5%)、「兄弟が通学しているから」(小学校33.3%、中学校22.6%)、「通学上の安全が確保されているから」(小学校20.5%、中学校18.5%)が上位となっている。